木津川上流流域下水道
木津川上流浄化センター

運転管理業務委託

要 求 水 準 書
別紙

令和８年１０月

京都府流域下水道事務所

目　次

別紙 Ⅰ．　対象施設 …… 2
　Ⅰ－ⅰ 対象施設 …… 2
　Ⅰ－ⅱ 施設概要 …… 6
別紙 Ⅱ．　運転管理業務における要求水準値 …… 9
　Ⅱ－ⅰ 放流水質に関する基準 …… 9
　Ⅱ－ⅱ 汚泥処理に関する基準 …… 12
別紙 Ⅲ．　設備の定期点検等設備 …… 14
別紙 Ⅳ．　施設機能状況の確認・診断手法及び報告書取りまとめの詳細 …… 50
別紙 Ⅴ．　水質試験・汚泥性状試験に関する要領 …… 51
　Ⅴ－ⅰ 総則 …… 51
　Ⅴ－ⅱ 試験項目 …… 52
　Ⅴ－ⅲ 試験方法及び数値の取り扱い …… 54
　Ⅴ－ⅳ 試験結果の報告 …… 56
　Ⅴ－ⅴ 分析業務内容 …… 57
　Ⅴ－ⅵ 分析結果の報告 …… 60
別紙 Ⅵ．　精度管理方法 …… 70
　Ⅵ－ⅰ 内部精度管理 …… 70
　Ⅵ－ⅱ 外部精度管理 …… 70
　Ⅵ－ⅲ 府が実施する精度管理への協力 …… 71
別紙 Ⅶ．　清掃業務要領 …… 72
　Ⅶ－ⅰ 実施項目 …… 72
　Ⅶ－ⅱ 留意事項 …… 72
別紙 Ⅷ．　調達物品の予定数量及び規格等 …… 74
別紙 Ⅸ．　消耗品等 …… 76
別紙 Ⅹ．　工事予定及び保安規定変更概要 …… 77

別紙Ⅰ．対象施設

Ⅰ－ⅰ　対象施設

施設の名称		施設の位置
木津川上流浄化センター		相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97番地
相楽ポンプ場		木津川市相楽高下４
幹線流量計 計5箇所	山-0-1	木津川市相楽城西地内（ポケットパーク）
	相-8	木津川市吐師宮ノ前地内
	相-2	相楽郡精華町大字祝園小字一反木地内
	下-0-1	相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97番地 木津川上流浄化センター内
	場内返送水流量計	相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97番地 木津川上流浄化センター内
幹線管路施設 （管渠） 計　11,490 ｍ	山田川幹線 （2,230 ｍ）	最上流点：相楽郡精華町大字乾谷小字三本木 流 入 先：相楽幹線（木津川市相楽城西） 集水市町：精華町
	相楽幹線 （7,180 ｍ）	最上流点：木津市木津池田 流 入 先：木津川上流浄化センター 集水市町：木津川市、精華町
	下狛幹線 （2,080m）	最上流点：相楽郡精華町大字下狛小字長芝 流 入 先：木津川上流浄化センター 集水市町：精華町
幹線管路施設 （人孔） 計30箇所	下-0	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字下狛小字神ノ木 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-2	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字祝園小字一反木 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-2’	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字祝園小字正田 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-3	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字祝園小字林垣外 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線

施設の名称		施設の位置
	相-4	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字北稲八間小字寄田長 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-5	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字祝園小字長塚 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-6	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字祝園小字榊ヶ坪 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-7	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字植田小字川佐 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-8	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：木津川市吐師宮ノ前 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-8	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市吐師宮ノ前 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-9	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市吐師松葉 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-10	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市相楽城西 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-10	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：木津川市相楽城西 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-10’	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市相楽城下 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-11	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市相楽高下 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-12	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市木津神田 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線

施設の名称		施設の位置
	相-13	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市木津西垣外 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-13’	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市木津南垣外 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	相-14	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：木津川市木津池田 接続する流域下水道の幹線名：相楽幹線
	山-1	市町村名：木津川市 流域関連公共下水道の名称：木津川市公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字山田小字下川原 接続する流域下水道の幹線名：山田川幹線
	山-1	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字山田小字下川原 接続する流域下水道の幹線名：山田川幹線
	山-2	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字山田小字上川原 接続する流域下水道の幹線名：山田川幹線
	山-2-1	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字山田小字度々 接続する流域下水道の幹線名：山田川幹線
	山-2-2	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字乾谷小字金堀 接続する流域下水道の幹線名：山田川幹線
	山-3	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字乾谷小字金堀 接続する流域下水道の幹線名：山田川幹線
	下-1	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字下狛小字脇田 接続する流域下水道の幹線名：下狛幹線
	下-2	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字下狛小字林前 接続する流域下水道の幹線名：下狛幹線
	下-3	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字下狛小字拝殿 接続する流域下水道の幹線名：下狛幹線

施設の名称		施設の位置
	下-3’	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字下狛小字下新庄 接続する流域下水道の幹線名：下狛幹線
	下-4	市町村名：精華町 流域関連公共下水道の名称：精華町公共下水道 接続箇所の位置：精華町大字下狛小字長芝 接続する流域下水道の幹線名：下狛幹線

Ⅰ－ⅱ　施設概要

(1) 木津川上流浄化センター

①　処理能力

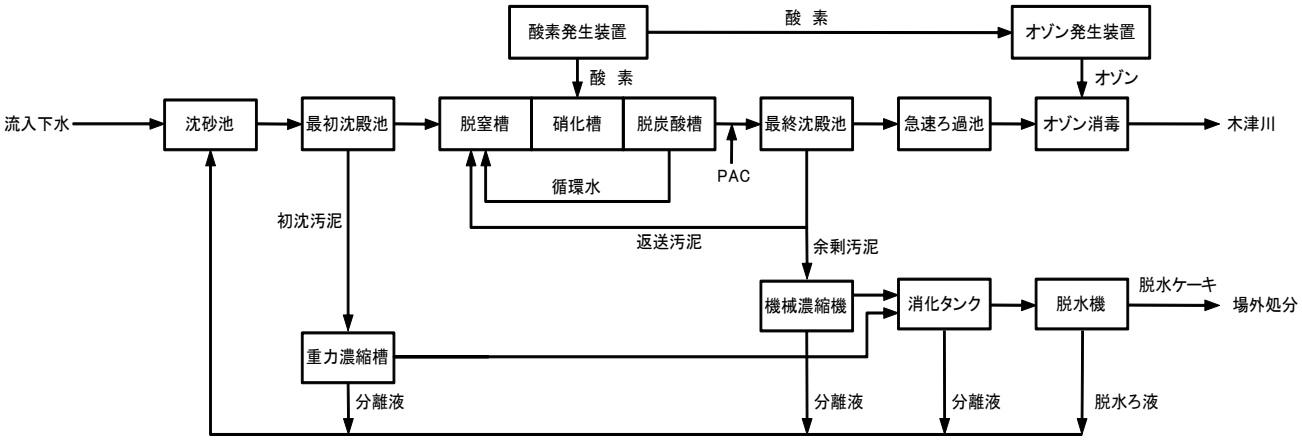
下　水　量	全 体 計 画 (令和30年)	事 業 計 画 (令和12年度)
日平均（m^3/日）	27,200	28,600
日最大（m^3/日）	30,000	31,300
時間最大（m^3/日）	51,600	54,600

②　流入水質及び除去率

種別 / 項目		水質（mg/L）		除去率（%）
		流　入	放　流	総　合
凝集剤併用型循環式硝化脱窒法（酸素法）＋急速ろ過	BOD	194	1.3	99.3
	COD	130	5.8	95.6
	SS	230	0.0	100.0
	T-N	36	10.0	72.3
	T-P	4	0.46	87.6

※令和6年度の年平均値である。

③　処理フロー



④　対象施設

本委託において運転管理対象となる木津川上流浄化センターの各施設については、7 開示資料に示す。

(2) 相楽中継ポンプ場

① 処理フロー



② 対象施設

本委託において運転管理対象となる相楽中継ポンプ場の各施設については、7 開示資料に示す。

(3) 処理区内の管渠流量計(幹線流量計)

本委託において運転管理対象となる流量計の各施設を以下に示す。

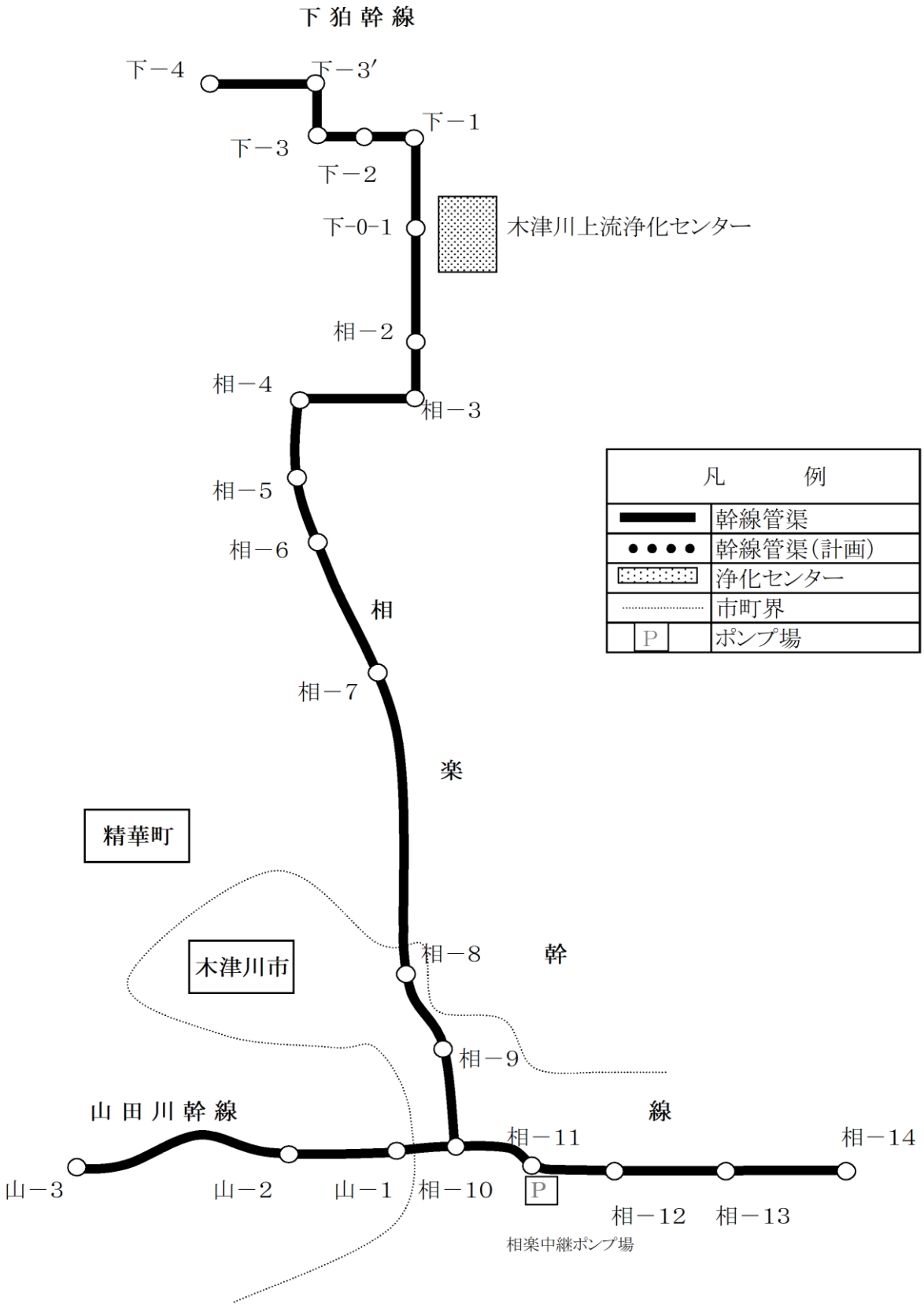
施設の名称	流量計	施設の位置	設置年月
山田川幹線	山-0-1	木津川市相楽城西地内（ポケットパーク）	平成11年11月
相楽幹線	相-8	木津川市吐師宮ノ前地内	平成11年11月
相楽幹線	相-2	相楽郡精華町大字祝園小字一反木地内	平成11年11月
下狛幹線	下-0-1	相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97番地木津川上流浄化センター内	平成11年11月
―	場内返送水流量計	相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97番地木津川上流浄化センター内	平成11年11月

(4) 幹線管路施設

本委託において運転管理対象となる管路施設を以下に示す。

施設の名称	施設の位置
山田川幹線 2,230 m	最上流点：相楽郡精華町大字乾谷小字三本木 流 入 先：相楽幹線 集水市町：精華町
相楽幹線 7,180 m	最上流点：木津市木津池田 流 入 先：木津川上流浄化センター 集水市町：木津川市、精華町
下狛幹線 2,080 m	最上流点：相楽郡精華町大字下狛小字長芝 流 入 先：木津川上流浄化センター 集水市町：精華町
計 11,490 m	

(5) 接続点及び流量計の設置状況



別紙Ⅱ．運転管理業務における要求水準値

Ⅱ－ｉ　放流水質に関する基準

処理実績を基に放流水質の要求水準を定める。ここでは、法定基準に加え、受託者が遵守すべき契約基準を設定する。委託者は要求水準の達成状況を公表することができる。

(1) 法定基準

日常の施設運転において実施する水質試験（受託者による水質試験（放流水質契約基準、放流水質法定基準を満たしていない場合の追加の水質試験を含む。）、法定検査及び業務委託契約書(案)（委託業務名:木津川上流流域下水道木津川上流浄化センター運転管理業務委託)(以下「契約書(案)」という。)、別記 業務特記事項（以下「契約書(案)別記」という。）第17条第１項に規定する検査）の各測定値が満たすべき法定基準を以下に示す。なお、業務期間中に基準が改正された場合は、当該数値によるものとする。

表 Ⅱ-i-①　放流水質に関する法定基準

項　　目	範　　囲
ｐＨ	5.8以上8.6以下
BOD（mg/L）	15以下
SS（mg/L）	40以下
T-N（mg/L）	14以下
T-P（mg/L）	1.3以下
大腸菌数（CFU/mL）	800以下
COD汚濁負荷量（kg/日）	731.3以下[Ｃ値：20mg/L]
T-N汚濁負荷量（kg/日）	548.5以下[Ｃ値：15mg/L]
T-P汚濁負荷量（kg/日）	58.20以下 [Ｃｏ値：2mg/L，Ｃｉ値：1mg/L]

表 Ⅱ-i-② 遵守すべき法令等

	項目	基準値
1	放流水の水質	・下水道法第８条「放流水の水質の基準」 ・水質汚濁防止法第３条「排水基準」 ・水質汚濁防止法に基づく排水基準に関する条例第２条「排水基準」 ・水質汚濁防止法第４条の５及び瀬戸内海環境保全特別措置法第12条の３「総量規制基準」 ・悪臭防止法第４条第１項第３号「排出水中の許容限度」 ・悪臭防止法第４条に基づく京都府告示「悪臭防止法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定」 ・京都府環境を守り育てる条例第33条「汚水に係る規制基準」
2	脱水ケーキ	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条第１項第３「産業廃棄物の収集・運搬、処分等の基準」 ・金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令（昭和48年総理府令第５号）別表第１「基準値」 ・土壌の汚染に係る環境基準について（平成3年8月23日環境庁告示第46条）別表「土壌環境基準」
3	敷地境界及び脱臭設備の排出口における悪臭物質	・悪臭防止法第４条第１項第１号「大気中の許容限度」及び第２号「排出口の許容限度」 ・悪臭防止法第４条に基づく京都府告示「悪臭防止法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定」

(2) 契約基準

① 契約基準Ⅰ

日常の施設運転において実施する水質試験である受託者による水質試験（放流水質契約基準、放流水質法定基準を満たしていない場合の追加の水質試験を含む。）、法定検査及び契約書(案)別記第17条第１項に規定する検査の各測定値が満たすべき契約基準（以下「契約基準Ⅰ」という。）を下表に示す。なお、業務期間中に法定基準が改正された場合に、当該数値が契約基準Ⅰより小さい値となる項目がある場合は、その値を当該項目に係る契約基準Ⅰと見なすものとする。

受託者は、流入水量基準あるいは流入水質基準が未達である場合でも、可能な範囲において下記の契約基準Ⅰを満たすように努める。

表 Ⅱ-i-③ 放流水質に関する契約基準Ⅰ（各回測定値が満たすべき基準）

項　　目	範　　囲
pH	5.8以上8.6以下
BOD（mg/L）	8以下
COD（mg/L）	13以下
SS（mg/L）	6以下
T-N（mg/L）	14以下
T-P（mg/L）	0.8以下
大腸菌数（CFU/mL）	800以下

② 契約基準Ⅱ

上記の全水質試験の各年度の年平均値（各測定日の間隔を考慮した加重平均値）において満たすべき契約基準（以下「契約基準Ⅱ」という。）を下表に示す。

表 Ⅱ-i-④ 放流水質に関する契約基準Ⅱ（年平均値が満たすべき基準）

項　　目	範　　囲
pH	5.8以上8.6以下
BOD（mg/L）	5以下
COD（mg/L）	12以下
SS（mg/L）	4以下
T-N（mg/L）	10以下
T-P（mg/L）	0.5以下

ここで、加重平均値を算定する際の各測定日の間隔については、以下のとおりとする。

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	…
測定 ↓ 結果 A				測定 ↓ 結果 B			測定 ↓ 結果 C				測定 ↓ 結果 D		

年平均値＝（A×4 ＋ B×3 ＋ C×4 ＋ D×・・・・）÷365（又は366）

なお、流入水が流入基準を満たしていない場合（受託者の責めに帰すことができない外的要因により放流水質契約基準Ⅰの未達が生じた場合を含む）の各回の測定結果については、上記の年平均値の算定から除外するものとする。

また、T-Nに係る流入水質の年平均値の算定は、契約基準Ⅱと同様の方法（各測定日の間隔を考慮した加重平均）で行うものとし、流入水が4.3 に示す流入基準を満たしていない場合（受託者の責めに帰すことができない外的要因により放流水質契約基準Ⅰの未達が生じた場合を含む）の各回の測定結果についても、年平均値の算定からは除外しないものとする。

③　放流基準未達期間の確認

受託者は、法定基準又は契約基準Ⅰの未達となる期間を把握するために、当該放流基準の未達が最初に確認された時点から、当該放流基準が未達でないことが確認できるまで、１日１回以上水質測定を行い、放流水質を把握する。

委託者は、受託者が行う水質測定の結果をもって、放流基準の未達の期間を確認する。

Ⅱ－ⅱ　汚泥処理に関する基準

汚泥の処理については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に準じた基準を適用する。受託者は、汚泥を以下の基準項目に適合させるよう処理する。

委託者は要求水準の達成状況を公表することができる。

(1) 契約基準Ⅰ

日常の施設運転において実施する脱水ケーキの含水率に関する各回の測定結果において満たすべき契約基準（以下「契約基準Ⅰ」という。）を下表に示す。含水率は施設稼働時に最低１回以上は測定すること。なお、簡易法による測定結果は、契約基準を満たしていることの判断には用いないものとする。ただし、当該結果により契約基準Ⅰを満たしていないおそれがあると考えられる場合は、速やかに公定法による含水率の測定を行うものとする。

表 Ⅱ－ⅱ－①　汚泥に関する契約基準Ⅰ（各回測定値が満たすべき基準）

	項　　目	範　　囲
脱水ケーキ	含　水　率	85.0%以下

(2) 契約基準Ⅱ

脱水ケーキの含水率に関する全測定結果の各年度の年平均値（各測定日の間隔を考慮した加重平均値）において満たすべき契約基準（以下「契約基準Ⅱ」という。）を下表に示す。

表 Ⅱ－ⅱ－②　汚泥に関する契約基準Ⅱ（年平均値が満たすべき基準）

	項　　目	範　　囲
脱水ケーキ	含　水　率	83.0%以下

なお、年平均値（加重平均値）を算定する際の各測定日の間隔については、Ⅱ-iに述べる放流水質に関する契約基準Ⅱの手法を準用する。

別紙 III . 設備の定期点検等設備

(1)の設備の点検整備等は以下の表を参考に計画を策定するものとする。なお、マーカーの箇所は府が優先して点検整備等を実施する必要があると考えている機器である。

(2)～(7)の表中の「○」は点検(本委託の対象)とする。

浄化センター及びポンプ場のすべての施設の日常点検は、本委託の対象とする。

(1) 機械設備

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
1	機械	流入弁	手動式仕切弁 φ800	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
2	機械	初沈バイパス弁	手動式仕切弁 φ500	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
3	機械	流入ゲート	電動式 W1650×H1650×7.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
4	機械	沈砂池流入ゲート-1	手動式 W1000×H1650	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
5	機械	沈砂池流入ゲート-2	手動式 W1000×H1650	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
6	機械	沈砂池流入ゲート-3	手動式 W1000×H1650	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
7	機械	沈砂池流出ゲート-1	手動式 W1000×H1650	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
8	機械	沈砂池流出ゲート-2	手動式 W1000×H1650	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
9	機械	No.1 自動除塵機	間欠式自動 W2.0m×H4.5m 目幅20mm	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
10	機械	№2 自動除塵機	間欠式自動 W2.0m×H4.5m 目幅20mm	第1ポンプ棟施設	令和2年4月
11	機械	№1揚砂ポンプ	無閉塞形水中揚砂ポンプ φ100×0.7m3/分×20m×11kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
12	機械	№2揚砂ポンプ	無閉塞形水中揚砂ポンプ φ100×0.7m3/分×20m×11kW	第1ポンプ棟施設	令和2年4月
13	機械	沈砂分離機	液体サイクロン 0.7m3/分	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
14	機械	沈砂しさ洗浄装置	機械撹拌式 スクリューコンベア 1.0m3/時(スクリーン、撹拌機)	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
15	機械	しさ脱水機	スクリュープレス 1.0m3/時×5.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
16	機械	NO.1 しさ搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ W600×L5000 20m/分×1.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
17	機械	No.2 しさ搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ W600×L3000 20m/分×1.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
18	機械	No.3 しさ搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ W600×L3000 20m/分×1.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
19	機械	しさスキップホイスト	ワイヤーロープ式 7m 0.3m3 11m/分×2.2kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
20	機械	しさホッパー	鋼板製角形 5m3×0.75kW×2	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
21	機械	沈砂搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ W600×L2000 20m/分×1.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
22	機械	沈砂スキップホイスト	ワイヤーロープ式 7m 0.3m3 11m/分×2.2kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
23	機械	沈砂ホッパー	鋼板製角形 5m3×0.75kW×2	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
24	機械	ポンプ井仕切ゲート	手動式 W1500×1500	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
25	機械	ポンプ井撹拌機	水中撹拌機 羽根径220mm×2.4kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
26	機械	搬入用ホイスト-1	電動トロリ付 2.8t×12m	第1ポンプ棟施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
27	機械	楊砂ポンプ吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付　1.0t×5m	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
28	機械	No.1 沈砂池床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×6m×1.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
29	機械	No.2 沈砂池床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×6m×1.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
30	機械	No.1 沈砂しさ洗浄水ポンプ	水中モーターポンプ φ50×0.25m3/分×16m×1.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
31	機械	No.2 沈砂しさ洗浄水ポンプ	水中モーターポンプ φ50×0.25m3/分×16m×1.5kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
32	機械	沈砂池脱臭塔	活性炭吸着塔(上向流ｶｰﾄﾘｯｼﾞ) 50m3/分	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
33	機械	沈砂池脱臭ファン	50m3/分×200mmAq　3.7kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
34	機械	活性炭搬入用チェンブロック	ギヤードトロリ付　1.0t×5m	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
35	機械	NO.1 汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ300×11m3/分×15m×45kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
36	機械	No2. 汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ300×11m3/分×15m×45kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
37	機械	No.3 汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ400×22m3/分×15m×90kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
38	機械	No.4 汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ400×22m3/分×15m×90kW	第1ポンプ棟施設	平成13年7月
39	機械	No.1 汚水ポンプ用電動機	かご形三相誘導電動機 45kW×6P×400V	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
40	機械	No.2 汚水ポンプ用電動機	かご形三相誘導電動機　45kW×6P× 400V	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
41	機械	No.3 汚水ポンプ用電動機	三相誘導電動機 90kW×6P×400V	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
42	機械	No.4 汚水ポンプ用電動機	三相誘導電動機 90kW×6P×400V	第1ポンプ棟施設	平成13年7月
43	機械	No.3 吸込弁	手動式仕切弁　φ400	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
44	機械	No.4 吸込弁	手動式仕切弁　φ400	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
45	機械	No.3 逆止弁	スイング式逆止弁　φ400	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
46	機械	No.4 逆止弁	スイング式逆止弁　φ400	第1ポンプ棟施設	平成13年7月
47	機械	No.1 吐出弁	電動式蝶形弁　φ300×0.2kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
48	機械	No.2 吐出弁	電動式蝶形弁　φ300×0.2kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
49	機械	No.3 吐出弁	電動式蝶形弁　φ400×0.2kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
50	機械	No.4 吐出弁	電動式蝶形弁　φ400×0.2kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
51	機械	No.1 封水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ50/40×0.15m3/分×36m×3.7kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
52	機械	No.2 封水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ50/40×0.15m3/分×36m×3.7kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
53	機械	受水槽	FRP製角形槽 4m3×1500×2000×2000H	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
54	機械	No.1 床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.3m3/分×13m×3.7kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
55	機械	No.2 床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.3m3/分×13m×3.7kW	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
56	機械	電磁流量計仕切弁-1	手動式仕切弁　φ800	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
57	機械	電磁流量計仕切弁-2	手動式仕切弁　φ800	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
58	機械	電磁流量計バイパス弁	手動式仕切弁　φ600	第1ポンプ棟施設	平成11年10月
59	機械	φ1100蝶形弁	手動式蝶形弁　φ1100	第1ポンプ棟施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
60	機械	No.1 水路曝気ブロワ	ロータリー(ルーツ)ブロワ φ200×30m3/分×53kPa	水処理施設	平成11年10月
61	機械	No.2 水路曝気ブロワ	ロータリー(ルーツ)ブロワ φ200×30m3/分×53kPa	水処理施設	平成11年10月
62	機械	初沈バイパスゲート	手動式 W900×H900	水処理施設	平成19年1月
63	機械	No.1 初沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成11年10月
64	機械	No.2 初沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成11年10月
65	機械	No.3 初沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成11年10月
66	機械	No.4 初沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成19年1月
67	機械	No.5 初沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成21年3月
68	機械	No.1 初沈汚泥かき寄機	ダブルチェーン式 W4200×L18500×H3000×2水路 0.6m/分	水処理施設	平成11年10月
69	機械	No.2 初沈汚泥かき寄機	ダブルチェーン式 W4200×L18500×H3000×2水路 0.6m/分	水処理施設	平成11年10月
70	機械	No.3 初沈汚泥かき寄機	ダブルチェーン式 W4200×L18500×H3000×2水路 0.6m/分	水処理施設	平成13年7月
71	機械	No.4 初沈汚泥かき寄機	ダブルチェーン式 W4200×L18500×H3000×2水路 0.6m/分	水処理施設	平成19年1月
72	機械	No.5 初沈汚泥かき寄機	ダブルチェーン式 W4200×L18500×H3000×2水路 0.6m/分	水処理施設	平成21年3月
73	機械	No.1-1 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成11年10月
74	機械	No.1-2 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成11年10月
75	機械	No.2-1 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成11年10月
76	機械	No.2-2 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成11年10月
77	機械	No.3-1 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成13年7月
78	機械	No.3-2 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成13年7月
79	機械	No.4-1 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成19年1月
80	機械	No.4-2 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成19年1月
81	機械	No.5-1 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成21年3月
82	機械	No.5-2 初沈スカムスキマ	無動力式 φ300×3800	水処理施設	平成21年3月
83	機械	No.1-1 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
84	機械	No.1-2 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
85	機械	No.2-1 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
86	機械	No.2-2 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
87	機械	No.3-1 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成13年7月
88	機械	No.3-2 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成13年7月
89	機械	No.4-1 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成19年1月
90	機械	No.4-2 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成19年1月
91	機械	No.5-1 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成21年3月
92	機械	No.5-2 初沈汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	水処理施設	平成21年3月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
93	機械	No.1 初沈汚泥引抜ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ φ100×0.4m3/分×9m×3.7kW	水処理施設	平成11年10月
94	機械	No.2 初沈汚泥引抜ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ φ100×0.4m3/分×9m×3.7kW	水処理施設	平成11年10月
95	機械	初沈スカム移送ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ100×0.6m3/分×13m×5.5kW	水処理施設	平成11年10月
96	機械	スカム分離機	スィングディスクスクリーン 目幅3.0mm 1.8m3/分×0.75kW	水処理施設	平成11年10月
97	機械	スカム脱水機	スクリュープレス式 0.5m3/時×(3.7+0.4)kW	水処理施設	平成11年10月
98	機械	スカム搬出用ホイスト	電動トロリ付 1.0t×6m	水処理施設	平成11年10月
99	機械	初沈スカム移送ポンプ吊上装置	手動式 0.5t×2.5m	水処理施設	平成11年10月
100	機械	No.1 初沈床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
101	機械	No.2 初沈床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
102	機械	№3 初沈床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.3m3/分×13m×3.7kW	水処理施設	令和2年4月
103	機械	水路曝気ブロワ吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 1.0t×4m	水処理施設	平成11年10月
104	機械	初沈流出水路バイパス可動堰	手動式 W900×ST600mm	水処理施設	平成19年1月
105	機械	No.1 反応槽流入可動堰	手動式 W1000×ST600mm	水処理施設	平成11年10月
106	機械	No.2 反応槽流入可動堰	手動式 W1000×ST600mm	水処理施設	平成11年10月
107	機械	No.3 反応槽流入可動堰	手動式 W1000×ST600mm	水処理施設	平成11年10月
108	機械	No.4 反応槽流入可動堰	手動式 W1000×ST600mm	水処理施設	平成19年1月
109	機械	No.5 反応槽流入可動堰	手動式 W1000×ST600mm	水処理施設	平成21年3月
110	機械	No.1-1 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成11年10月
111	機械	No.1-2 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成11年10月
112	機械	No.2-1 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成11年10月
113	機械	No.2-2 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成11年10月
114	機械	No.3-1 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成13年7月
115	機械	No.3-2 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成13年7月
116	機械	No.4-1 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成19年1月
117	機械	No.4-2 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成19年1月
118	機械	No.5-1 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成21年3月
119	機械	No.5-2 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	平成21年3月
120	機械	№6-1 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	令和2年4月
121	機械	№6-2 脱窒槽攪拌機	水中攪拌機 羽根径2300mm×3.7kW	水処理施設	令和2年4月
122	機械	No.1-1 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成11年10月
123	機械	No.1-2 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成11年10月
124	機械	No.1-3 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成11年10月
125	機械	No.1-4 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
126	機械	No. 2-1 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成11年10月
127	機械	No.2-2 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成11年10月
128	機械	No.2-3 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成11年10月
129	機械	No.2-4 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成11年10月
130	機械	No.3-1 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成13年7月
131	機械	No.3-2 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成13年7月
132	機械	No.3-3 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成13年7月
133	機械	No.3-4 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成13年7月
134	機械	No.4-1 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成19年1月
135	機械	No.4-2 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成19年1月
136	機械	No.4-3 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成19年1月
137	機械	No.4-4 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成19年1月
138	機械	No.5-1 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成21年3月
139	機械	No.5-2 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成21年3月
140	機械	No.5-3 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成21年3月
141	機械	No.5-4 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	平成21年3月
142	機械	№6-1 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	令和2年4月
143	機械	№6-2 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	令和2年4月
144	機械	№6-3 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	令和2年4月
145	機械	№6-4 硝化槽曝気機	水中攪拌機 羽根径 上1800mm 下1100mm×11/7.5kW	水処理施設	令和2年4月
146	機械	No.1-1 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成11年10月
147	機械	No.1-2 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成11年10月
148	機械	No.2-1 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成11年10月
149	機械	No.2-2 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成11年10月
150	機械	No.3-1 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成13年7月
151	機械	No.3-2 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成13年7月
152	機械	No.4-1 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成19年1月
153	機械	No.4-2 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成19年1月
154	機械	No.5-1 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成21年3月
155	機械	No.5-2 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ250×6m3/分×7m×11kW	水処理施設	平成21年3月
156	機械	№6-1 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ200×4.1m3/分×9m×11kW	水処理施設	令和2年4月
157	機械	№6-2 循環水ポンプ	水中汚水ポンプ φ200×4.1m3/分×9m×11kW	水処理施設	令和2年4月
158	機械	No.1 反応槽サンプリングポンプ	自吸式汚水ポンプ φ40×0.2m3/分×8m×1.5kW	水処理施設 （反応槽）	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
159	機械	No.2 反応槽サンプリングポンプ	自吸式汚水ポンプ φ40×0.2m3/分×8m×1.5kW	水処理施設 （反応槽）	平成11年10月
160	機械	No.3 反応槽サンプリングポンプ	自吸式汚水ポンプ φ40×0.2m3/分×8m×1.5kW	水処理施設 （反応槽）	平成13年7月
161	機械	No.4 反応槽サンプリングポンプ	自吸式汚水ポンプ φ40×0.2m3/分×8m×1.5kW	水処理施設 （反応槽）	平成19年1月
162	機械	No.5 反応槽サンプリングポンプ	自吸式汚水ポンプ φ40×0.2m3/分×8m×1.5kW	水処理施設 （反応槽）	平成21年3月
163	機械	№6 反応槽サンプリングポンプ	自吸式汚水ポンプ φ40×0.2m3/分×8m×1.5kW	水処理施設 （反応槽）	令和2年4月
164	機械	No.1 脱炭酸槽散気筒	酸気筒固定式 100A 120L/分･本×30本/ライザー	水処理施設	平成11年10月
165	機械	No.2 脱炭酸槽散気筒	酸気筒固定式 100A 120L/分･本×30本/ライザー	水処理施設	平成11年10月
166	機械	No.3 脱炭酸槽散気筒	酸気筒固定式 100A 120L/分･本×30本/ライザー	水処理施設	平成11年10月
167	機械	No.4 脱炭酸槽散気筒	酸気筒固定式 100A 120L/分･本×30本/ライザー	水処理施設	平成19年1月
168	機械	No.5 脱炭酸槽散気筒	酸気筒固定式 100A 120L/分･本×30本/ライザー	水処理施設	平成19年1月
169	機械	No.1 循環水ポンプ吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 0.5t×4.5m	水処理施設	平成11年10月
170	機械	No.2 循環水ポンプ吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 0.5t×4.5m	水処理施設	平成11年10月
171	機械	No.3 循環水ポンプ吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 0.5t×6m	水処理施設	平成13年7月
172	機械	No.4 循環水ポンプ吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 0.5t×6m	水処理施設	平成19年1月
173	機械	No.5 循環水ポンプ吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 0.5t×6m	水処理施設	平成21年3月
174	機械	No.1 反応槽床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
175	機械	No.2 反応槽床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
176	機械	No.3 反応槽床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
177	機械	№4 反応槽床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×10m×2.2kW	水処理施設	令和2年4月
178	機械	№5 反応槽床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×10m×2.2kW	水処理施設	令和2年4月
179	機械	№6 反応槽床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×10m×2.2kW	水処理施設	令和2年4月
180	機械	No.1 攪拌機吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 3.0t×4m	水処理施設	平成11年10月
181	機械	No.2 攪拌機吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 3.0t×4m	水処理施設	平成11年10月
182	機械	No.3 攪拌機吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 3.0t×4m	水処理施設	平成13年7月
183	機械	No.4 攪拌機吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 3.0t×4m	水処理施設	平成19年1月
184	機械	No.5 攪拌機吊上用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 3.2t×4m	水処理施設	平成21年3月
185	機械	No.1 終沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成11年10月
186	機械	No.2 終沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成11年10月
187	機械	No.3 終沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成11年10月
188	機械	No.4 終沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成19年1月
189	機械	No.5 終沈流入可動堰	手動式 W1000×ST500mm	水処理施設	平成21年3月
190	機械	No.1 終沈汚泥かき寄機	ダブルチェン式 W4150×L47900×H4000×2水路 ×0.3m/分×1.5kW	水処理施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
191	機械	No.2 終沈汚泥かき寄機	ダブルチェン式 W4150×L47900×H4000×2水路 ×0.3mm/分×1.5kW	水処理施設	平成11年10月
192	機械	No.3 終沈汚泥かき寄機	ダブルチェン式 W4150×L47900×H4000×2水路 ×0.3m/分×1.5kW	水処理施設	平成13年7月
193	機械	No.4 終沈汚泥かき寄機	ダブルチェン式 W4150×L47900×H4000×2水路 ×0.3mm/分×1.5kW	水処理施設	平成19年1月
194	機械	No.5 終沈汚泥かき寄機	ダブルチェン式 W4150×L47900×H4000×2水路 ×0.3m/分×1.5kW	水処理施設	平成21年3月
195	機械	№6 終沈汚泥かき寄機	ダブルチェン式 W4150×L47900×H4000×2水路 ×0.3m/分×1.5kW	水処理施設	平成21年3月
196	機械	No.1-1 終スカムスキマ	無動力式　φ300×3750	水処理施設	平成11年10月
197	機械	No.1-2 終スカムスキマ	無動力式　φ300×3750	水処理施設	平成11年10月
198	機械	No.2-1 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3750	水処理施設	平成11年10月
199	機械	No.2-2 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3750	水処理施設	平成11年10月
200	機械	No.3-1 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3800	水処理施設	平成13年7月
201	機械	No.3-2 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3800	水処理施設	平成13年7月
202	機械	No.4-1 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3800	水処理施設	平成19年1月
203	機械	No.4-2 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3800	水処理施設	平成19年1月
204	機械	No.5-1 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3800	水処理施設	平成21年3月
205	機械	No.5-2 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3800	水処理施設	平成21年3月
206	機械	№6-1 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3750	水処理施設	平成21年3月
207	機械	№6-2 終沈スカムスキマ	無動力式　φ300×3750	水処理施設	平成21年3月
208	機械	No.1 返送汚泥ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ250×6.4m3/分×6m×15kW	水処理施設	平成11年10月
209	機械	No.2 返送汚泥ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ250×6.4m3/分×6m×15kW	水処理施設	平成11年10月
210	機械	No.3 返送汚泥ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ250×6.4m3/分×6m×15kW	水処理施設	平成13年7月
211	機械	No.4 返送汚泥ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ250×6.4m3/分×6m×15kW	水処理施設	平成13年7月
212	機械	No.5 返送汚泥ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ250×4.9m3/分×5m×11kW	水処理施設	平成21年3月
213	機械	№6 返送汚泥ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ200×4.1m3/分×6m×7.5kW	水処理施設	令和2年4月
214	機械	No.1 余剰汚泥ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ100×0.6m3/分×13m×5.5kW	水処理施設	平成11年10月
215	機械	No.2 余剰汚泥ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ100×0.6m3/分×13m×5.5kW	水処理施設	平成11年10月
216	機械	№1終沈スカム移送ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ100×0.6m3/分×13m×5.5kW	水処理施設	平成11年10月
217	機械	№2終沈スカム移送ポンプ	吸込スクリュー付水中汚泥ポンプ φ100×0.7m3/分×15m×5.5kW	水処理施設	令和2年4月
218	機械	No.1 終沈床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
219	機械	No.2 終沈床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
220	機械	No.3 終沈床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	水処理施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
221	機械	№4 終沈床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.3m3/分×9m×2.2kW	水処理施設	令和2年4月
222	機械	№5 終沈床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.3m3/分×9m×2.2kW	水処理施設	令和2年4月
223	機械	№6 終沈床排水ポンプ	水中ポンプ φ80×0.3m3/分×9m×2.2kW	水処理施設	令和2年4月
224	機械	No.1 池内排水ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ150/125×2.0m3/分×12m×7.5kW	水処理施設	平成11年10月
225	機械	No.2 池内排水ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ150/125×2.0m3/分×12m×7.5kW	水処理施設	平成11年10月
226	機械	砂ろ過流入ゲート-1	手動式　φ900	水処理施設	平成11年10月
227	機械	砂ろ過流入ゲート-2	手動式　φ900	水処理施設	平成11年10月
228	機械	No.1 砂ろ過バイパスゲート	手動式　φ900	水処理施設	平成11年10月
229	機械	終沈搬入用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式　2.0t×12m	水処理施設	平成11年10月
230	機械	No.1 余剰汚泥切替弁	電動仕切弁　φ100×0.4kW	水処理施設	平成13年7月
231	機械	No.2 余剰汚泥切替弁	電動仕切弁　φ100×0.4kW	水処理施設	平成13年7月
232	機械	No.3 余剰汚泥切替弁	電動仕切弁　φ100×0.4kW	水処理施設	平成21年3月
233	機械	No.1-1 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
234	機械	No.1-2 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
235	機械	No.2-1 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
236	機械	No.2-2 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
237	機械	No.3-1 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成13年7月
238	機械	No.3-2 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成13年7月
239	機械	No.4-1 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成19年1月
240	機械	No.4-2 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成19年1月
241	機械	No.5-1 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成21年3月
242	機械	No.5-2 終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁　φ200×0.4kW	水処理施設	平成21年3月
243	機械	終沈バイパスゲート	手動式　W800×H1000	水処理施設	平成19年1月
244	機械	放風サイレンサー-1	円筒式法風サイレンサー 300A 4920m3/時 -15db	水処理施設	平成15年12月
245	機械	放風サイレンサー-2	円筒式法風サイレンサー 300A 4920m3/時 -15db	水処理施設	平成15年12月
246	機械	消音フード	壁掛式消音機 1250×1400×700 3600m3/時 -15db	水処理施設	平成15年12月
247	機械	No.1 酸素発生装置	(吸着塔)減圧3塔方式　酸素発生量:7000kgO2/日　(ﾊﾞﾙﾌﾞｽｷｯﾄ)空気作動ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁、発生酸素濃度計、発生酸素流量計	水処理施設	平成11年10月
248	機械	No.2 酸素発生装置	(吸着塔)減圧3塔方式　酸素発生量:7000kgO2/日　(ﾊﾞﾙﾌﾞｽｷｯﾄ)空気作動ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁、発生酸素濃度計、発生酸素流量計	水処理施設	平成13年7月
249	機械	№3 酸素発生装置	(吸着塔)減圧2塔方式　酸素発生量:8000kgO2/日　(ﾊﾞﾙﾌﾞｽｷｯﾄ)空気作動ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁、発生酸素濃度計、発生酸素流量計	水処理施設	令和2年4月
250	機械	No.1 空気ブロワ	ターボブロワφ250/(220×180)×3909m3/時×650mmAq×15kW	水処理施設	平成11年10月
251	機械	No.2 空気ブロワ	ターボブロワφ250/(220×180)×3909m3/時×650mmAq×15kW	水処理施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
252	機械	No.3 空気ブロワ	ターボブロワ φ250/(220×180)×3909m3/時×650mmAq×15kW	水処理施設	平成13年7月
253	機械	№4 空気ブロワ	ターボブロワ φ250×43m3/分×6.85KPa	水処理施設	令和2年4月
254	機械	No.1 減圧ポンプ	湿式二段ロータリーポンプ φ250×4920m3/分×-3.92kPa×110kW	水処理施設	平成11年10月
255	機械	No.2 減圧ポンプ	湿式二段ロータリーポンプ φ250×4920m3/分×-3.92kPa×110kW	水処理施設	平成11年10月
256	機械	No.3 減圧ポンプ	湿式二段ロータリーポンプ φ250×4920m3/分×-3.92kPa×110kW	水処理施設	平成13年7月
257	機械	№4 減圧ポンプ	湿式二段ロータリーポンプ 82m3/分×-53.3kPa	水処理施設	令和2年4月
258	機械	No.1 酸素昇圧ブロワ	スクリューロータリーブロワ φ80×264Nm3/時×0.1MPa×22kW	水処理施設	平成11年10月
259	機械	No.2 酸素昇圧ブロワ	スクリューロータリーブロワ φ80×264Nm3/時×0.1MPa×22kW	水処理施設	平成11年10月
260	機械	No.3 酸素昇圧ブロワ	スクリューロータリーブロワ φ80×264Nm3/時×0.1MPa×22kW	水処理施設	平成13年7月
261	機械	№4 酸素昇圧ブロワ	スクリューブロワ 4.4Nm3/分×0.096MPa	水処理施設	令和2年4月
262	機械	No.1 アフタークーラー	空冷式 4.4Nm3/分×0.75kW	水処理施設	平成11年10月
263	機械	No.2 アフタークーラー	空冷式 4.4Nm3/分×0.75kW	水処理施設	平成11年10月
264	機械	No.3 アフタークーラー	空冷式 4.4Nm3/分×0.75kW	水処理施設	平成13年7月
265	機械	No.1 排気サイレンサー	円筒立形湿式サイレンサー 89m3/分	水処理施設	平成11年10月
266	機械	No.2 排気サイレンサー	円筒立形湿式サイレンサー 89m3/分	水処理施設	平成13年7月
267	機械	No.1 計装空気圧縮機	圧力スイッチ式 850L/分×0.69MPa×7.5kW	水処理施設	平成11年10月
268	機械	No.2 計装空気圧縮機	圧力スイッチ式 850L/分×0.69MPa×7.5kW	水処理施設	平成11年10月
269	機械	No.1 計装空気圧縮機 (付属:除湿器)	冷凍式 0.7m3/分×0.93MPa×0.25kW	水処理施設	平成11年10月
270	機械	No.2 計装空気圧縮機 (付属:除湿器)	冷凍式 0.7m3/分×0.93MPa×0.25kW	水処理施設	平成11年10月
271	機械	No.1 計装空気圧縮機 (付属:計装空気ﾀﾝｸ)	立形円筒型 9.5kg/cm2 0.5m3	水処理施設	平成11年10月
272	機械	№2計装空気圧縮機 (付属:計装空気タンク)	竪形円筒型 0.7m3/分×0.0686MPa	水処理施設	令和2年4月
273	機械	液体酸素貯留設備	立形円筒自立形 10t-O2 0.93MPa ﾍｯﾀﾞ管圧力計、液酸流量計	水処理施設	平成11年10月
274	機械	液体酸素貯留設備 (付属:No.1蒸発機)	アルミフィン大気加温形 300Nm3/時 0.93MPa	水処理施設	平成11年10月
275	機械	液体酸素貯留設備 (付属:No.2蒸発機)	アルミフィン大気加温形 300Nm3/時 0.93MPa	水処理施設	平成11年10月
276	機械	酸素発生機室チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 2.0t×5m	水処理施設	平成11年10月
277	機械	反応槽搬入用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 2.0t×12m	水処理施設	平成11年10月
278	機械	No.1 水封器	呼吸式 150A	水処理施設	平成11年10月
279	機械	No.2 水封器	呼吸式 150A	水処理施設	平成11年10月
280	機械	No.3 水封器	呼吸式 150A	水処理施設	平成13年7月
281	機械	No.4 水封器	呼吸式 150A	水処理施設	平成19年1月
282	機械	No.5 水封器	呼吸式 150A	水処理施設	平成21年3月
283	機械	No.1 空気ブロワ (付属:吸込ﾌｨﾙﾀｰ)	乾式フィルター 43m3/分 圧力損失1.47kPa以下	水処理施設	平成11年10月
284	機械	No.2 空気ブロワ (付属:吸込ﾌｨﾙﾀｰ)	乾式フィルター 43m3/分 圧力損失1.47kPa以下	水処理施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
285	機械	No.3 空気ブロワ (付属：吸込ﾌｨﾙﾀｰ)	乾式フィルター 43m3/分	水処理施設	平成13年7月
286	機械	PAC貯留タンク	FRP製円筒式 15m3	水処理施設	平成11年10月
287	機械	No.1 PAC注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ φ25×0.53L/分×0.5MPa×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
288	機械	No.2 PAC注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ φ25×0.53L/分×0.5MPa×0.4kW	水処理施設	平成11年10月
289	機械	No.3 PAC注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ φ25×0.5L/分×0.49MPa×0.4kW	水処理施設	平成21年3月
290	機械	No.6 PAC注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ φ25×0.53L/分×0.5MPa×0.4kW	水処理施設	平成13年7月
291	機械	No.1 メタノール注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ15×0.04～0.30L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
292	機械	No.2 メタノール注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ15×0.04～0.30L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
293	機械	No.3 メタノール注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ15×0.04～0.30L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
294	機械	No.4 メタノール注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ15×0.04～0.30L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
295	機械	No.5 メタノール注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ15×0.04～0.30L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
296	機械	No.1 苛性ソーダ注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ25×0.19～1.72L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
297	機械	No.2 苛性ソーダ注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ25×0.19～1.72L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
298	機械	No.3 苛性ソーダ注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ25×0.19～1.72L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
299	機械	No.4 苛性ソーダ注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ25×0.19～1.72L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
300	機械	No.5 苛性ソーダ注入ポンプ	ダイヤフラム定量ポンプ φ25×0.19～1.72L/分×0.5MPa×0.2kW	水処理施設	平成27年9月
301	機械	水処理脱臭ファン	FRP製ターボファン 100m3/分×2.0kPa×7.5kW	水処理施設	平成11年10月
302	機械	No.1 水処理脱臭塔	活性炭吸着塔 上向流ｶｰﾄﾘｯｼﾞ 100m3/分	水処理施設	平成11年10月
303	機械	活性炭搬入用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 1.0t×6m	水処理施設	平成11年10月
304	機械	No.1 急速ろ過池	重力式下向流式 処理水量7630m3/日	急速ろ過棟施設	平成12年7月
305	機械	No.2 急速ろ過池	重力式下向流式 処理水量7630m3/日	急速ろ過棟施設	平成12年7月
306	機械	No.3 急速ろ過池	重力式下向流式 処理水量7630m3/日	急速ろ過棟施設	平成13年12月
307	機械	No.4 急速ろ過池	重力式下向流式 処理水量7630m3/日	急速ろ過棟施設	平成19年3月
308	機械	No.1 ろ過池流入ゲート	電動式 W600×H400×0.75kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
309	機械	No.2 ろ過池流入ゲート	電動式 W600×H400×0.75kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
310	機械	No.3 ろ過池流入ゲート	電動式 W600×H400×0.75kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
311	機械	No.4 ろ過池流入ゲート	電動式 W600×H400×0.75kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
312	機械	No.1-1 原水ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ φ300×10.5m3/分×9.5m×30kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
313	機械	No.1-2 原水ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ φ300×10.5m3/分×9.5m×30kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
314	機械	No.2 原水ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ φ400×21.0m3/分×9.5m×55kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
315	機械	No.3 原水ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ φ500×31.5m3/分×9.5m×75kW	急速ろ過棟施設	平成13年12月
316	機械	No.1 逆洗ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ φ500×31.5m3/分×11m×90kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
317	機械	No.2 逆洗ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ φ500×31.5m3/分×11m×90kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
318	機械	No.1 消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100×0.8m3/分×20m×5.5kW	急速ろ過棟施設	平成13年12月
319	機械	No.2 消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100×0.8m3/分×20m×5.5kW	急速ろ過棟施設	平成13年12月
320	機械	No.1 逆洗排水ポンプ	吸込スクリュー付渦巻ポンプ φ200/150×3.0m3/分×17m×18.5kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
321	機械	No.2 逆洗排水ポンプ	吸込スクリュー付渦巻ポンプ φ200/150×3.0m3/分×17m×18.5kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
322	機械	No.1 急ろ棟床排水ポンプ-1	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×6m×1.5kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
323	機械	No.2 急ろ棟床排水ポンプ-2	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×6m×1.5kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
324	機械	No.1 急速ろ過池床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×6m×1.5kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
325	機械	No.2 急速ろ過池床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×6m×1.5kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
326	機械	No.1 逆洗ブロワ	ルーツブロワ φ200×34m3/分×40kPa×45kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
327	機械	No.2 逆洗ブロワ	ルーツブロワ φ200×34m3/分×40kPa ×45kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
328	機械	No.1 急ろ棟計装用 空気圧縮機	圧力開閉式 600L/分×5.5kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
329	機械	No.2 急ろ棟計装用 空気圧縮機	圧力開閉式 600L/分×5.5kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
330	機械	空気圧縮機 (付属:除湿器)	間接冷凍式 600L/分×0.25kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
331	機械	乾式フィルター	乾式空気ろ過機 68m3/分	急速ろ過棟施設	平成12年7月
332	機械	ろ過水弁-1	空気作動式蝶形弁 φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
333	機械	ろ過水弁-2	空気作動式蝶形弁 φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
334	機械	ろ過水弁-3	空気作動式蝶形弁 φ400	急速ろ過棟施設	平成13年12月
335	機械	ろ過水弁-4	空気作動式蝶形弁 φ400	急速ろ過棟施設	平成19年3月
336	機械	ろ過水管元弁-1	手動式蝶形弁 φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
337	機械	ろ過水管元弁-2	手動式蝶形弁 φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
338	機械	ろ過水管元弁-3	手動式蝶形弁 φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
339	機械	ろ過水管元弁-4	手動式蝶形弁 φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
340	機械	逆洗水弁-1	空気作動式蝶形弁 φ500	急速ろ過棟施設	平成12年7月
341	機械	逆洗水弁-2	空気作動式蝶形弁 φ500	急速ろ過棟施設	平成12年7月
342	機械	逆洗水弁-3	空気作動式蝶形弁 φ500	急速ろ過棟施設	平成13年12月
343	機械	逆洗水弁-4	空気作動式蝶形弁 φ500	急速ろ過棟施設	平成19年3月
344	機械	逆洗水管元弁-1	手動式蝶形弁 φ500	急速ろ過棟施設	平成12年7月
345	機械	逆洗水管元弁-2	手動式蝶形弁 φ500	急速ろ過棟施設	平成12年7月
346	機械	逆洗水管元弁-3	手動式蝶形弁 φ500	急速ろ過棟施設	平成13年12月
347	機械	逆洗水管元弁-4	手動式蝶形弁 φ500	急速ろ過棟施設	平成19年3月
348	機械	空洗弁-1	空気作動式蝶形弁 φ300	急速ろ過棟施設	平成12年7月
349	機械	空洗弁-2	空気作動式蝶形弁 φ300	急速ろ過棟施設	平成12年7月
350	機械	空洗弁-3	空気作動式蝶形弁 φ300	急速ろ過棟施設	平成13年12月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
351	機械	空洗弁-4	空気作動式蝶形弁　φ300	急速ろ過棟施設	平成19年3月
352	機械	逆洗排水弁-1	空気作動式蝶形弁　φ600	急速ろ過棟施設	平成12年7月
353	機械	逆洗排水弁-2	空気作動式蝶形弁　φ600	急速ろ過棟施設	平成12年7月
354	機械	逆洗排水弁-3	空気作動式蝶形弁　φ600	急速ろ過棟施設	平成13年12月
355	機械	逆洗排水弁-4	空気作動式蝶形弁　φ600	急速ろ過棟施設	平成19年3月
356	機械	中間水抜弁-1	空気作動式蝶形弁　φ200	急速ろ過棟施設	平成12年7月
357	機械	中間水抜弁-2	空気作動式蝶形弁　φ200	急速ろ過棟施設	平成12年7月
358	機械	中間水抜弁-3	空気作動式蝶形弁　φ200	急速ろ過棟施設	平成13年12月
359	機械	中間水抜弁-4	空気作動式蝶形弁　φ200	急速ろ過棟施設	平成19年3月
360	機械	2号原水ポンプ元弁	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
361	機械	2号原水ポンプ吐出弁	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
362	機械	2号原水ポンプ逆止弁	スイング式逆止弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
363	機械	3号原水ポンプ元弁-1	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
364	機械	3号原水ポンプ元弁-2	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
365	機械	3号原水ポンプ元弁-3	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
366	機械	3号原水ポンプ吐出弁	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成13年12月
367	機械	3号原水ポンプ逆止弁	スイング式逆止弁　φ500	急速ろ過棟施設	平成13年12月
368	機械	逆洗ポンプ元弁-1	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
369	機械	逆洗ポンプ元弁-2	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
370	機械	逆洗ポンプ吐出弁-1	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
371	機械	逆洗ポンプ吐出弁-2	手動式仕切弁　φ400	急速ろ過棟施設	平成12年7月
372	機械	逆洗ポンプ逆止弁-1	スイング式逆止弁　φ500	急速ろ過棟施設	平成12年7月
373	機械	逆洗ポンプ逆止弁-2	スイング式逆止弁　φ500	急速ろ過棟施設	平成12年7月
374	機械	原水流量調節弁-1	手動式蝶形弁　φ900	急速ろ過棟施設	平成12年7月
375	機械	原水流量調節弁-2	手動式蝶形弁　φ900	急速ろ過棟施設	平成12年7月
376	機械	逆洗流量調節弁-1	手動式蝶形弁　φ500	急速ろ過棟施設	平成12年7月
377	機械	逆洗流量調節弁-2	手動式蝶形弁　φ500	急速ろ過棟施設	平成12年7月
378	機械	次亜塩素酸ソーダ貯留槽	FRP製立形円筒式　3m3	急速ろ過棟施設	平成12年7月
379	機械	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ-1	ダイヤフラム形制御式 φ32×0.53L/分×2kg/cm2×0.4kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
380	機械	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ-2	ダイヤフラム形制御式 φ32×0.53L/分×2kg/cm2×0.4kW	急速ろ過棟施設	平成12年7月
381	機械	砂ろ過機	移床式上向流連続式　1000m3/日	水処理施設	平成11年10月
382	機械	No.1 原水ポンプ	水中汚水ポンプ φ100×0.9m3/分×15m×5.5kW	水処理施設	平成11年10月
383	機械	No.2 原水ポンプ	水中汚水ポンプ φ100×0.9m3/分×15m×5.5kW	水処理施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
384	機械	原水ポンプ吊上装置	手動式 1.0t×7m	水処理施設	平成11年10月
385	機械	No.1 空気圧縮機	圧力スイッチ式 235L/分×0.83MPa×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
386	機械	No.2 空気圧縮機	圧力スイッチ式 235L/分×0.83MPa×2.2kW	水処理施設	平成11年10月
387	機械	No.1 雑用水給水ユニット	圧力タンク式 φ65×1.0m3/分(φ65ﾎﾟﾝﾌﾟ×5.5kW)	水処理施設	平成11年10月
388	機械	No.1 脱水機棟送水ポンプ (停止中)	片吸込渦巻ポンプ φ100×1.0m3/分×16m×5.5kW	水処理施設	平成11年10月
389	機械	No.2 脱水機棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100×1.0m3/分×16m×5.5kW	水処理施設	平成11年10月
390	機械	No.3 脱水機棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100×1.0m3/分×16m×5.5kW	水処理施設	令和2年4月
391	機械	給水 No.1 急ろ脱水機棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100×1.0m3/分×16m×5.5kW	急速ろ過棟施設	平成13年12月
392	機械	給水 No.2 急ろ脱水機棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100×1.0m3/分×16m ×5.5kW	急速ろ過棟施設	平成13年12月
393	機械	封水給水ユニット	ﾀﾝｸ 3.0m3 ﾎﾟﾝﾌﾟφ65×0.6m3×30m×5.5kW×2台	急速ろ過棟施設	平成11年10月
394	機械	No.1 オゾン消毒槽流入ゲート	手動式 W1000×H1000	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
395	機械	No.2 オゾン消毒槽流入ゲート	手動式 W1000×H1000	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
396	機械	No.1 オゾン発生機	無声放電式 7.5kgO3/時 ｵｿﾞﾝ発生流量、消毒槽圧力計	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
397	機械	No.2 オゾン発生機	無声放電式 7.5kgO3/時 ｵｿﾞﾝ発生流量	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
398	機械	No.1 散気装置	散気筒固定式 52L/分･本×24本/組	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
399	機械	No.2 散気装置	散気筒固定式 52L/分･本×24本/組	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
400	機械	No.1 酸素循環ブロワ	耐食性ターボブロワ 100/65A×3.0Nm3/分×1350mmAq×5.5kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
401	機械	No.2 酸素循環ブロワ	耐食性ターボブロワ 100/65A×3.0Nm3/分×1350mmAq×5.5kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
402	機械	No.1 消泡塔	散水式円筒立形タンク 150Nm3/時 φ1000×2620	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
403	機械	排オゾン分解装置	触媒接触式円筒立形 150Nm3/時	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
404	機械	No.1 オゾン冷却水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100/80×0.8m3/分×27m×7.5kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
405	機械	No.2 オゾン冷却水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100/80×0.8m3/分×27m×7.5kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
406	機械	オゾン冷却水ストレーナー	自動洗浄ストレーナー 100×0.8m3/分×0.4kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
407	機械	機器搬出入装置	ギヤードトロリ付手動式 1.0t×4m	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
408	機械	放流ポンプ井流入ゲート	電動式 W1500×H1500×3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
409	機械	放流ゲート	電動式 W1000×H1000×2.2kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
410	機械	No.1 第2ポンプ棟床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
411	機械	No.2 第2ポンプ棟床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
412	機械	連絡管廊排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
413	機械	連絡管廊排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.2m3/分×12m×2.2kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
414	機械	No.1 放流ポンプ	立軸斜流ポンプ φ450×27.5m3/分×10m×110PS	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
415	機械	No.2 放流ポンプ	立軸斜流ポンプ φ450×27.5m3/分×10m×110PS	第2ポンプ棟施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
416	機械	No.3 放流ポンプ	立軸斜流ポンプ φ700×55m3/分×10m×155kW	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
417	機械	No.1 ディーゼル機関-1	4サイクルディーゼルエンジン 110PS	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
418	機械	No.2 ディーゼル機関-2	4サイクルディーゼルエンジン 110PS	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
419	機械	No.3 ディーゼル機関	4サイクルディーゼルエンジン 155kW	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
420	機械	No.1 歯車減速機	かさ歯車減速機 伝達容量110PS	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
421	機械	No.2 歯車減速機	かさ歯車減速機 伝達容量110PS	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
422	機械	No.3 歯車減速機	かさ歯車減速機 伝達容量155kW (210PS)	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
423	機械	No.1 逆止弁	スイング式逆止弁 φ450	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
424	機械	No.2 逆止弁	スイング式逆止弁 φ450	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
425	機械	No.3 逆止弁	スイング式逆止弁 φ700	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
426	機械	No.1 吐出弁	2床式電動蝶形弁 φ450×0.2kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
427	機械	No.2 吐出弁	2床式電動蝶形弁 φ450×0.2kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
428	機械	No.3 吐出弁	2床式電動蝶形弁 φ700×0.75kW	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
429	機械	燃料貯留槽	鋼板製横形円筒槽 5000L	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
430	機械	燃料小出槽	鋼板製角形槽 490L	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
431	機械	No.1 燃料移送ポンプ	ギヤポンプ 20A×35L/分×2.5kgf/cm2×0.4kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
432	機械	No.2 燃料移送ポンプ	ギヤポンプ 20A×35L/分×2.5kgf/cm2×0.4kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
433	機械	No.1 温水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 65/50A×0.35m3/分×25m×3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
434	機械	No.2 温水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 65/50A×0.35m3/分×25m×3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
435	機械	No.3 温水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ65/50A×0.35m3/分×25m×3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
436	機械	No.1 冷却水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 65/50A×0.35m3/分×20m×3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
437	機械	No.2 冷却水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 65/50A×0.35m3/分×20m×3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
438	機械	No.3 冷却水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ65/50×0.35m3/分×20m×3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
439	機械	冷却塔-1	標準形丸形冷却塔 100A 13L/分×80冷却トン 168000kcal/時	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
440	機械	冷却塔-2	標準形丸形冷却塔 100A 13L/分×80冷却トン 195.3kW	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
441	機械	No.1 空気圧縮機	立形空気2段圧縮機 350L/分 3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
442	機械	No.2 空気圧縮機	立形空気2段圧縮機 350L/分 3.7kW	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
443	機械	高架水槽	FRP製角形槽 1.5m×2.0m×2.0mH× 4.0m3	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
444	機械	電磁制水弁	電磁式 100A	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
445	機械	起動用空気槽-1-1	立形円筒式 3.14MPa 100L	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
446	機械	起動用空気槽-1-2	立形円筒式 3.14MPa 100L	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
447	機械	起動用空気槽-2-1	立形円筒式 3.14MPa 100L	第2ポンプ棟施設	平成11年10月
448	機械	起動用空気槽-2-2	立形円筒式 3.14MPa 100L	第2ポンプ棟施設	平成11年10月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
449	機械	起動用空気槽-3-1	立形円筒式 3.14MPa 100L	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
450	機械	起動用空気槽-3-2	立形円筒式 3.14MPa 100L	第2ポンプ棟施設	平成13年7月
451	機械	No.1 汚泥スクリーン	回転式スクリーン式 目開3.0mm×1.8m3/分×0.75kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
452	機械	No.2 汚泥スクリーン	回転式スクリーン式 目開4.0mm×0.8m3/分×0.4kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
453	機械	No.1 汚泥しさ脱水機	スクリュープレス 0.5m3/時×2.2kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
454	機械	No.2 汚泥しさ脱水機	スクリュープレス 0.5m3/時×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
455	機械	分配槽	鋼板製角形 W2100×L1800×H1200	汚泥濃縮施設	平成19年3月
456	機械	No.1 分配可動堰	手動式 W300×ST200	汚泥濃縮施設	平成19年3月
457	機械	No.2 分配可動堰	手動式 W300×ST200	汚泥濃縮施設	平成19年3月
458	機械	No.1 濃縮汚泥かき寄機	中央駆動懸垂型 φ4500×H4000×0.4kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
459	機械	No.2 濃縮汚泥かき寄機	中央駆動懸垂型 φ4500×H4000×0.4kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
460	機械	No.1 重力濃縮汚泥ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ100×0.6m3/分×30m×7.5kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
461	機械	重力濃縮汚泥ポンプ-2	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ100×0.6m3/分×30m×7.5kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
462	機械	No.1 濃縮汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
463	機械	No.2 濃縮汚泥引抜弁	電動仕切弁 φ150×0.4kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
464	機械	No.1 重力濃縮棟床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ65×0.3m3/分×10m×1.5kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
465	機械	No.2 重力濃縮棟床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ65×0.3m3/分×10m×1.5kW	汚泥濃縮施設	平成19年3月
466	機械	機器搬出入用ホイスト	電動トロリ付 1.0t	汚泥濃縮施設	平成19年3月
467	機械	No.1→No.3 余剰汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 100A×5～15m3/時×40mAq×7.5kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
468	機械	No.1 余剰汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 125A×10～30m3/時×20mAq×7.5kW	汚泥濃縮施設	平成21年3月
469	機械	ラインミキサー	密閉式鋼板製筒型槽0.4kW	汚泥濃縮施設	平成21年3月
470	機械	機械濃縮機	スクリュー濃縮機 スクリーン径φ600mm スクリュー0.75kw 外筒0.75kW	汚泥濃縮施設	平成21年3月
471	機械	濃縮凝集剤供給ポンプ	一軸ねじ式ポンプ	汚泥濃縮施設	平成21年3月
472	機械	No.2 余剰汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 100A×5～15m3/時×40mAq×7.5kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
473	機械	No.1 余剰汚泥貯留槽撹拌機	立軸ミキサー 羽根径1200mm 2.2kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
474	機械	No.2 余剰汚泥貯留槽撹拌機	立軸ミキサー 羽根径1200mm 2.2kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
475	機械	No.2 遠心濃縮機	遠心濃縮機 10m3/時 15kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
476	機械	No.1 遠心濃縮汚泥ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 100A×13m3/時×10mAq×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
477	機械	No.2 遠心濃縮汚泥ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 100A×13m3/時×10mAq×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
478	機械	濃縮汚泥貯留槽撹拌機	立軸ミキサー 羽根径1200mm 3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
479	機械	濃縮凝集剤供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 20A×0.05～0.2m3/時×30mAq×0.4kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
480	機械	No.1 濃縮機補機室床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×16m×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
481	機械	No.2 濃縮機補機室床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×16m×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
482	機械	No.1 濃縮管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×16m×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
483	機械	No.2 濃縮管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×16m×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
484	機械	No.3 濃縮管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×16m×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
485	機械	No.4 濃縮管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×16m×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
486	機械	No.5 濃縮管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×16m×3.7kW	汚泥濃縮施設	平成11年11月
487	機械	濃縮機搬出入用ホイスト	電動式 2.8t×18m	汚泥濃縮施設	平成11年10月
488	機械	濃縮棟脱臭ファン	FRP製ターボファン 30m3/分×220mmAq	汚泥濃縮施設	平成11年11月
489	機械	濃縮棟活性炭吸着塔	活性炭吸着塔(立形カートリッジ式) 30m3/分	汚泥濃縮施設	平成11年11月
490	機械	濃縮設備活性炭搬出入用チェンブロック	ギヤードトロリ付 1.0t×5.3m	汚泥濃縮施設	平成11年11月
491	機械	No.1-1 脱水汚泥貯留槽攪拌機	立軸ミキサー 羽根径1600mm 5.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
492	機械	No.1-2 脱水汚泥貯留槽攪拌機	立軸ミキサー 羽根径1600mm 5.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
493	機械	No.1 汚泥脱水機	ベルトプレス脱水機 ろ布幅2.5m (0.75+2.2)kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
494	機械	No.2 汚泥脱水機	ベルトプレス脱水機 ろ布幅2.5m (0.75+2.2)kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
495	機械	No.3 汚泥脱水機	スクリュープレス脱水機(フロキュレータ含む)325kgDS/時	汚泥脱水施設	平成21年3月
496	機械	No.1 汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 100A×4～12.5m3/時×20mAq×5.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
497	機械	No.2 汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 100A×4～12.5m3/時×20mAq×5.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
498	機械	No.3 汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式汚泥ポンプ 100A×6～21m3/時×0.2MPa×5.5kW	汚泥脱水施設	平成21年3月
499	機械	No.1 凝集剤溶解槽	鋼板製立形円筒(φ2800×3000H 15m3) 7.5W(付属:ミキサー)	汚泥脱水施設	平成11年11月
500	機械	No.2 凝集剤溶解槽	鋼板製立形円筒(φ2800×3000H 15m3) 7.5W(付属:ミキサー)	汚泥脱水施設	平成11年11月
501	機械	濃縮用凝集剤溶解装置	鋼板製角形	汚泥脱水施設	平成23年5月
502	機械	No.1 凝集剤溶解槽出口弁	鋼板製立形円筒(φ2800×3000H 15m3) 7.5W(付属:ミキサー)	汚泥脱水施設	平成11年11月
503	機械	No.2 凝集剤溶解槽出口弁	鋼板製立形円筒(φ2800×3000H 15m3) 7.5W(付属:ミキサー)	汚泥脱水施設	平成11年11月
504	機械	No.1 凝集剤定量供給機	空気作動式ダイヤフラム弁	汚泥脱水施設	平成11年11月
505	機械	No.2 凝集剤定量供給機	空気作動式ダイヤフラム弁	汚泥脱水施設	平成11年11月
506	機械	No.1 凝集剤供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ 50A×1～3.5m3/時×20mAq×1.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
507	機械	No.2 凝集剤供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ 50A×1～3.5m3/時×20mAq×1.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
508	機械	No.3 凝集剤供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ 50A×20～70L/分×0.2MPa×1.5kW	汚泥脱水施設	平成21年3月
509	機械	脱水機洗浄水ポンプ	横軸多段渦巻ポンプ 0.12m3/min×52m 3.7kW×4P×400V×60Hz	汚泥脱水施設	平成21年3月
510	機械	ケーキ移送切替弁	電動式0.75kW	汚泥脱水施設	平成21年3月
511	機械	No.1 ろ布洗浄水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ65×0.375m3/分×52m	汚泥脱水施設	平成11年11月
512	機械	No.2 ろ布洗浄水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ65×0.375m3/分×52m	汚泥脱水施設	平成11年11月
513	機械	No.1 空気圧縮機	可搬式小型空気圧縮機 600L/分×5.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
514	機械	No.2 空気圧縮機	可搬式小型空気圧縮機 600L/分×5.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
515	機械	除湿機	冷凍式 830L/分	汚泥脱水施設	平成24年3月
516	機械	アフタークーラー	空冷式1,150L/分×75w	汚泥脱水施設	平成11年11月
517	機械	ケーキ搬出コンベヤ	トラフ型ベルトコンベア ベルト:W600mm×L15m 24m/分×1.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
518	機械	No.1 ケーキ移送ポンプ	フィーダー付一軸ネジ式ポンプ (505×260)/200A×1.1～5.0m3/時×16kgf/cm2×(11+7.5)kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
519	機械	No.2 ケーキ移送ポンプ	フィーダー付一軸ネジ式ポンプ (505×260)/150A×MAX 2.6m3/時×1.9MPa×(7.5+3.7)kW	汚泥脱水施設	平成21年3月
520	機械	ケーキホッパ	鋼板製角形ホッパ 12m3 (2.2×2)kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
521	機械	No.2 ケーキホッパ	鋼板製角形ホッパ 12m3 (2.2×2)kW	汚泥脱水施設	平成21年3月
522	機械	脱水機搬出入用ホイスト	電動式 2.0t×12m	汚泥脱水施設	平成11年11月
523	機械	No.2 脱水機搬出入用ホイスト	電動式 2.0t×12m	汚泥脱水施設	平成21年3月
524	機械	No.1 脱水機補機室床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×8m×1.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
525	機械	No.2 脱水機補機室床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.3m3/分×8m×1.5kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
526	機械	脱水設備脱臭ファン	FRP製ターボファン 30m3/分×220mmAq×3.7kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
527	機械	脱水設備脱臭塔	活性炭吸着塔(立形ｶｰﾄﾘｯｼﾞ) 30m3/分	汚泥脱水施設	平成11年11月
528	機械	脱水設備活性炭搬出入用チェンブロック	ギヤードトロリ付手動式 1.0t×5.8m	汚泥脱水施設	平成11年11月
529	機械	ろ布洗浄水槽流入弁	電動仕切弁 φ150 0.4kW	汚泥脱水施設	平成11年11月
530	機械	A-1 消化タンク撹拌機	機械撹拌式ドラフトチューブ径φ500×長13000 撹拌流量750m3/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
531	機械	A-2 消化タンク撹拌機	機械撹拌式ドラフトチューブ径φ500×長13000 撹拌流量750m3/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
532	機械	A-3 消化タンク撹拌機	機械撹拌式ドラフトチューブ径φ500×長13000 撹拌流量750m3/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
533	機械	B-1 消化タンク撹拌機	機械撹拌式 1900m3/機×2.2kw×11.6rpm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年9月
534	機械	A-1 センタードーム装置	円筒式 φ600	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
535	機械	A-2 センタードーム装置	円筒式 φ600	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
536	機械	A-3 センタードーム装置	円筒式 φ600	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
537	機械	A-1 センタードーム安全装置	乾式安全弁 φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
538	機械	A-2 センタードーム安全装置	乾式安全弁 φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
539	機械	A-3 センタードーム安全装置	乾式安全弁 φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
540	機械	A-1 中段汚泥用テレスコープ弁	電動式テレスコープ弁 φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
541	機械	A-2 中段汚泥用テレスコープ弁	電動式テレスコープ弁 φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
542	機械	A-3 中段汚泥用テレスコープ弁	電動式テレスコープ弁 φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
543	機械	A-1 下段汚泥用テレスコープ弁	電動式テレスコープ弁 φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
544	機械	A-2 下段汚泥用テレスコープ弁-2	電動式テレスコープ弁 φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
545	機械	A-3 下段汚泥用テレスコープ弁	電動式テレスコープ弁 φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
546	機械	A-1 脱離液用テレスコープ弁	電動式テレスコープ弁 φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
547	機械	A-2 脱離液用テレスコープ弁	電動式テレスコープ弁　φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
548	機械	A-3 脱離液用テレスコープ弁	電動式テレスコープ弁　φ150×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
549	機械	A-1 スカム排出弁	電動式仕切弁　φ200×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
550	機械	A-2 スカム排出弁	電動式仕切弁　φ200×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
551	機械	A-3 スカム排出弁	電動式仕切弁　φ200×0.4kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
552	機械	A-1 下段消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
553	機械	A-1 中段消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
554	機械	A-2 下段消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
555	機械	A-2 中段消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
556	機械	A-3 下段消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
557	機械	A-3 中段消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
558	機械	A-1 消化汚泥移送弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
559	機械	A-2 消化汚泥移送弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
560	機械	A-3 消化汚泥移送弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
561	機械	A-1 消化汚泥移送引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
562	機械	A-2 消化汚泥移送引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
563	機械	A-3 消化汚泥移送引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
564	機械	A-1 消化汚泥移送投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
565	機械	A-2 消化汚泥移送投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
566	機械	A-3 消化汚泥移送投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
567	機械	A-1 下段循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
568	機械	A-1 中段循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
569	機械	A-2 下段循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
570	機械	A-2 中段循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
571	機械	A-3 下段循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
572	機械	A-3 中段循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
573	機械	A-1 循環汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
574	機械	A-2 循環汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
575	機械	A-3 循環汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ150	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
576	機械	A-1 機械濃縮汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ100	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
577	機械	A-2 機械濃縮汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ100	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
578	機械	A-3 機械濃縮汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ100	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
579	機械	A-1 重力濃縮汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁　φ100	消化タンク・ボイラー棟施設	平成19年3月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
580	機械	A-2 重力濃縮汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁 φ100	消化タンク・ボイラー棟施設	平成19年3月
581	機械	A-3 重力濃縮汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁 φ100	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
582	機械	No.1 管廊床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ φ65×0.3m3/分×11m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
583	機械	No.2 管廊床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ φ65×0.3m3/分×11m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
584	機械	雑用水加圧ポンプ	ライン渦巻ポンプ φ32×0.05m3/分×24m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
585	機械	A形 電磁弁箱(1)	鋼板製壁掛形 W550×D270×H600	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
586	機械	A-1 電磁弁箱(2)	鋼板製壁掛形 W550×D270×H600	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
587	機械	A-2 電磁弁箱(2)	鋼板製壁掛形 W550×D270×H600	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
588	機械	A-3 電磁弁箱(2)	鋼板製壁掛形 W550×D270×H600	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
589	機械	A-1 循環汚泥ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ100/80×0.6m3/分×43m×15kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
590	機械	A-2 循環汚泥ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ100/80×0.6m3/分×43m×15kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
591	機械	A-3 循環汚泥ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ100/80×0.6m3/分×43m×15kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
592	機械	A-4 循環汚泥ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ100/80×0.6m3/分×43m×15kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
593	機械	B-1 循環汚泥ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ100/80×0.7m3/分×45m×15kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年9月
594	機械	B-4 循環汚泥ポンプ	吸込スクリュー付汚泥ポンプ φ100/80×0.7m3/分×45m×15kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年9月
595	機械	A-1 熱交換器	二重管式熱交換器 452MJ/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
596	機械	A-2 熱交換器	二重管式熱交換器 452MJ/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
597	機械	A-3 熱交換器	二重管式熱交換器 452MJ/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
598	機械	A-1 温水循環ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ40×0.1m3/分×15m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
599	機械	A-2 温水循環ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ40×0.1m3/分×15m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
600	機械	A-3 温水循環ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ40×0.1m3/分×15m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年3月
601	機械	A-4 温水循環ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ40×0.1m3/分×15m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
602	機械	B-1 温水循環ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 0.14m3/分×25m×3.7kE	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年9月
603	機械	B-4 温水循環ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 0.14m3/分×25m×3.7kE	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年9月
604	機械	A系 温水タンク	ステンレス製円筒槽 φ1200×H1500 1.0m3	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
605	機械	A系 温水ボイラ	753MJ/時 (0.4+0.4)kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
606	機械	A系 ガス昇圧ブロワ	ターボ式ブロワ 50A×45m3/時×4.9kpa×0.75kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
607	機械	燃料貯留槽	鋼板製横形円筒槽 5000L	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
608	機械	No.1 燃料移送ポンプ	歯車ポンプ φ12×7L/分×0.29MPa×0.2kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
609	機械	No.2 燃料移送ポンプ	歯車ポンプ φ12×7L/分×0.29MPa×0.2kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
610	機械	燃料小出槽	鋼板製角形槽 500×500×H880 100L	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
611	機械	No.1 空気圧縮機	圧力スイッチ式 165L/分×0.83MPa×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
612	機械	No.2 空気圧縮機	圧力スイッチ式 165L/分×0.83MPa×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
613	機械	空気槽	鋼板製立形円筒槽 230L	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
614	機械	除湿機	冷凍式 830L/分×250W	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
615	機械	No.1 ボイラー棟床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ φ65×0.3m3/分×11m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
616	機械	No.2 ボイラー棟床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ φ65×0.3m3/分×11m×1.5kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
617	機械	A-1脱硫塔	連続乾式脱硫塔 φ1100×(4.0+1.05) 50m3/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
618	機械	A-2脱硫塔	連続乾式脱硫塔 φ1100×(4.0+1.05) 50m3/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
619	機械	脱硫剤搬入ホイスト	電動トロリ付 1.0t×9m	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
620	機械	乾式ガスタンク	φ13560×H12260 1100m3	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
621	機械	余剰ガス燃焼装置	強制通風式 φ1400×H6800 200m3/時	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月
622	機械	No.1 流入ゲート	電動式 W700×H1200×3.7kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
623	機械	No.2 流入ゲート	電動式 W700×H1200×3.7kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
624	機械	No.1 流出ゲート	手動式 W700×H1200	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
625	機械	No.2 流出ゲート	手動式 W700×H1200	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
626	機械	ポンプ井仕切ゲート	手動式 W700×H1200	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
627	機械	自動除塵機	間欠式前面掻揚げ形 水路W2000×H3600×2.2kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
628	機械	No.1 しさ搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ ベルトW600×水平L6800×1.5kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
629	機械	No.2 しさ搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ ベルトW600×水平L8250、垂直L850×1.5kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
630	機械	破砕機	立2軸回転式(水上横置式) 2.0m3/時×7.5kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
631	機械	No.1 ポンプ井撹拌機	昇降式水中ミキサー プロペラ外径φ220mm×1.1kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
632	機械	No.2 ポンプ井撹拌機	昇降式水中ミキサー プロペラ外径φ220mm×1.1kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
633	機械	沈砂池機器搬入用ホイスト	電動式 2.8t×15m (5.5+0.55)kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
634	機械	No.1 汚水ポンプ-1	立軸渦巻斜流ポンプ φ300×11.7m3/分×23m×75kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
635	機械	No.1 汚水ポンプ-2	立軸渦巻斜流ポンプ φ300×11.7m3/分×23m×75kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
636	機械	No.1 汚水ポンプ吐出弁-1	電動式蝶形弁 φ300×0.2kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
637	機械	No.1 汚水ポンプ吐出弁-2	電動式蝶形弁 φ300×0.2kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
638	機械	電磁流量計廻り仕切弁-1	手動式仕切弁 φ600	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
639	機械	電磁流量計廻り仕切弁-2	手動式仕切弁 φ600	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
640	機械	電磁流量計廻り仕切弁-3	手動式仕切弁 φ600	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
641	機械	圧送弁-1	電動偏心構造弁 φ600×1.5kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
642	機械	圧送弁-2	電動偏心構造弁 φ600×1.5kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
643	機械	ポンプ吊上用ホイスト	電動トロリ付 2.8t×11m (5.5+0.55+0.4×2)kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
644	機械	床排水ポンプ-1	水中汚水ポンプ φ65×0.3m3/分×8m×1.5kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
645	機械	床排水ポンプ-2	水中汚水ポンプ φ65×0.3m3/分×8m×1.5kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年
646	機械	汚水ポンプ機器搬入用ホイスト	電動トロリ付　2.8t×15m×(5.5+0.55)kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
647	機械	脱臭ファン	片吸込ターボファン 20m3/分×210mmAq×2.2kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
648	機械	活性炭吸着塔	カートリッジ式　20m3/分	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
649	機械	活性炭搬入用チェーンブロック	ギヤードトロリ付　0.5t×5m	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
650	機械	封水ポンプ-1	片吸込渦巻ポンプ 25A×0.08m3/分×41m×0.2kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
651	機械	封水ポンプ-2	片吸込渦巻ポンプ 25A×0.08m3/分×41m×0.2kW	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月
652	機械	排ガス洗浄装置1	洗浄装置CRW16、フードFHS150	管理棟施設	
653	機械	排ガス洗浄装置2	洗浄装置CRW16、フードFHS150	管理棟施設	

(2)クレーン設備

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	点検計画等				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
1	機械	ポンプ室天井クレーン	電動式 5t×12m	第1ポンプ棟施設	平成11年10月	○※	○	○※	○	○※
2	機械	搬入用ホイスト-2	電動トロリ付 5t×18m	第1ポンプ棟施設	平成11年10月	○※	○	○※	○	○※
3	機械	天井クレーン	ダブルレール式 7.5t×8m	第2ポンプ棟施設	平成11年10月	○※	○	○※	○	○※

※年次及び月次点検に加え、性能検査を実施

(3)消化ガス発電設備

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	点検計画等				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
657	機械	消化ガス発電-1	ガスエンジン(立形直列水冷4サイクル) 定格出力25kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年3月	○	○	○	○	○
658	機械	消化ガス発電-2	ガスエンジン(立形直列水冷4サイクル) 定格出力25kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年3月	○	○	○	○	○
659	機械	消化ガス発電-3	ガスエンジン(立形直列水冷4サイクル) 定格出力25kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年3月	○	○	○	○	○
660	機械	消化ガス発電-4	ガスエンジン(立形直列水冷4サイクル) 定格出力25kW	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年3月	○	○	○	○	○
661	機械	消化ガス発電-5	ガスエンジン(立形直列水冷4サイクル) 定格出力25kW	消化タンク・ボイラー棟施設	令和3年8月	○	○	○	○	○
662	機械	消化ガス発電-6	ガスエンジン(立形直列水冷4サイクル) 定格出力25kW	消化タンク・ボイラー棟施設	令和3年8月	○	○	○	○	○
663	機械	消化ガス発電-7	ガスエンジン(立形直列水冷4サイクル) 定格出力25kW	消化タンク・ボイラー棟施設	令和3年8月	○	○	○	○	○

（4）電気設備

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
1	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	電気棟施設	平成12年2月		○			
2	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	第一ポンプ棟施設	平成11年10月		○			
3	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	水処理棟施設	平成11年10月			○		
4	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	第二ポンプ棟施設	平成11年10月		○			
5	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	急速ろ過棟施設	平成12年7月			○		
6	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	汚泥濃縮棟施設	平成11年11月			○		
7	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	汚泥脱水施設	平成11年11月				○	
8	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	脱水機棟施設	平成17年3月				○	
9	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	ボイラー施設	平成17年3月				○	
10	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	管理棟施設	平成11年10月				○	
11	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	電気棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
12	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	第一ポンプ棟施設	平成11年10月	○	○	○	○	○
13	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	水処理棟施設	平成11年10月	○	○	○	○	○
14	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	水処理棟施設	平成13年7月	○	○	○	○	○
15	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	第二ポンプ棟施設	平成11年10月	○	○	○	○	○
16	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○	○	○	○	○
17	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	汚泥脱水施設	平成11年11月	○	○	○	○	○
18	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	脱水機棟施設	平成17年3月	○	○	○	○	○
19	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	ボイラー施設	平成11年10月	○	○	○	○	○
20	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	管理棟施設	平成11年10月	○	○	○	○	○
21	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形・操作卓	遠方監視制御装置	平成11年10月	○	○	○	○	○
22	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	第一ポンプ棟施設	平成11年10月		○			
23	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	水処理棟施設	平成11年10月			○		
24	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	水処理棟施設	平成13年7月			○		
25	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	第二ポンプ棟施設	平成11年10月		○			
26	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	第二ポンプ棟施設	平成13年7月		○			
27	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	急速ろ過棟施設	平成12年7月			○		
28	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	急速ろ過棟施設	平成13年12月			○		
29	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	汚泥重力濃縮施設	平成19年3月			○		
30	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	汚泥濃縮施設	平成11年11月			○		
31	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	汚泥脱水施設	平成11年11月				○	
32	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	ボイラー棟施設	平成17年3月				○	
33	電気	動力設備：インバータ等	屋内自立閉鎖形	第一ポンプ棟施設	平成11年10月		○			
34	電気	動力設備：インバータ等	屋内自立閉鎖形	水処理棟施設	平成11年10月			○		
35	電気	動力設備：インバータ等	屋内自立閉鎖形	第二ポンプ棟施設	平成11年10月		○			
36	電気	動力設備：インバータ等	屋内自立閉鎖形	汚泥濃縮施設	平成11年11月			○		
37	電気	動力設備：インバータ等	屋内自立閉鎖形	汚泥脱水施設	平成11年11月				○	
38	電気	無停電電源設備	屋内自立閉鎖形	管理棟施設	平成11年10月		○		○	
39	電気	無停電電源設備	屋内自立閉鎖形	第一ポンプ棟施設	平成11年10月		○		○	
40	電気	無停電電源設備	屋内自立閉鎖形	水処理棟施設	平成11年10月		○		○	
41	電気	無停電電源設備	屋内自立閉鎖形	第二ポンプ棟施設	平成11年10月		○		○	
42	電気	無停電電源設備	屋内自立閉鎖形	急速ろ過棟施設	平成12年7月		○		○	
43	電気	無停電電源設備	屋内自立閉鎖形	汚泥脱水施設	平成11年11月		○		○	

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
44	電気	受変電設備	屋内自立閉鎖形	相楽中継ポンプ場施設	平成11年12月		○		○	
45	電気	監視制御設備	屋内自立閉鎖形	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月	○	○	○	○	○
46	電気	自家発電設備	3φ3W6．6kV625kVA	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月	○	○	○	○	○
47	電気	動力設備	屋内、屋外スタンド形他	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月	○		○		○
48	電気	無停電電源設備	屋内自立閉鎖形	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月	○	○	○	○	○
49	電気	電気棟高圧2系統化制御盤	屋内自立閉鎖形	電気棟施設	平成21年6月		○			
50	電気	第1ポンプ棟高圧2系統化制御盤	屋内自立閉鎖形	第一ポンプ棟施設	平成21年6月		○			
51	電気	管理棟高圧2系統化制御盤	屋内自立閉鎖形	管理棟施設	平成21年6月				○	
52	電気	水処理棟高圧2系統化制御盤	屋内自立閉鎖形	水処理棟施設	平成21年6月			○		
53	電気	急速ろ過棟高圧2系統化制御盤	屋内自立閉鎖形	急速ろ過棟施設	平成21年6月			○		
54	電気	第2ポンプ棟高圧2系統化制御盤	屋内自立閉鎖形	第二ポンプ棟施設	平成21年6月		○			
55	電気	脱水機棟高圧2系統化制御盤	屋内自立閉鎖形	脱水機棟施設	平成21年6月				○	
56	電気	非常用自家発電装置		自家発電装置	令和8年11月	○	○	○	○	○

（5）計装設備

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
1	計装	流入渠大型水位計(D-IP-1)	屋内壁掛形 800×300×950	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
2	計装	ポンプ井大型水位計(E-IP-1)	屋内壁掛形 800×300×950	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
3	計装	流入渠水位	投込式	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
4	計装	流入ゲート開度	ポテンション式	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
5	計装	沈砂・しさホッパ重量-1	ロードセル式	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
6	計装	沈砂・しさホッパ重量-2	ロードセル式	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
7	計装	汚水ポンプ井水位	投込式	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
8	計装	汚水ポンプ井水位	レーダー式	第1ポンプ棟施設	平成17年3月		○		○	
9	計装	汚水ポンプ回転数	VVVF	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
10	計装	揚水量設定	―	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
11	計装	汚水ポンプ吐出弁開度-1	ポテンション式	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
12	計装	汚水ポンプ吐出弁開度-2	ポテンション式	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
13	計装	汚水ポンプ吐出弁開度-3	ポテンション式	第1ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
14	計装	No.4 汚水ポンプ吐出弁開度	ポテンション式	第1ポンプ棟施設	平成13年7月		○		○	
15	計装	汚水ポンプ揚水流量	電磁式 600mm	第1ポンプ棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
16	計装	流入水自動採水器	屋外自立形	第1ポンプ棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
17	計装	幹線流量計	超音波式 屋外自立形	第1ポンプ棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
18	計装	着水井自動採水器	屋外自立形	水処理施設 （初沈）	平成14年11月	○	○	○	○	○
19	計装	初沈自動採水器	屋外自立形	水処理施設 （初沈）	平成14年11月	○	○	○	○	○
20	計装	No.1 初沈汚泥流量	電磁式 100mm	水処理施設 （初沈）	平成11年10月	○	○	○	○	○
21	計装	初沈汚泥濃度指示変換器 （検出器）	超音波式 100mm	水処理施設 （初沈）	平成11年10月	○	○	○	○	○
22	計装	No.1 スカムピット液位	圧力式	水処理施設 （初沈）	平成11年10月		○		○	
23	計装	初沈入口pH計	ガラス電極式	水処理施設 （初沈）	平成21年6月		○		○	
24	計装	酸素濃度検出器-1	磁気式酸素濃度分析計 W800×D825×H1950 0～100% O2	水処理施設 （反応槽）	平成11年10月	○	○	○	○	○
25	計装	酸素濃度検出器-2	磁気式酸素濃度分析計 W800×D825×H1950 0～100% O2	水処理施設 （反応槽）	平成11年10月	○	○	○	○	○
26	計装	酸素濃度検出器-3	磁気式酸素濃度分析計 W800×D825×H1950 0～100% O2	水処理施設 （反応槽）	平成13年7月	○	○	○	○	○
27	計装	酸素濃度検出器-4	磁気式酸素濃度分析計 W800×D825×H1950 0～100% O2	水処理施設 （反応槽）	平成19年1月	○	○	○	○	○
28	計装	酸素濃度検出器-5	磁気式酸素濃度分析計 W800×D825×H1950 0～100% O2	水処理施設 （反応槽）	平成21年3月	○	○	○	○	○
29	計装	酸素濃度検出器-6	磁気式酸素濃度分析計 W800×D825×H1950 0～100% O2	水処理施設 （反応槽）	令和2年4月	○	○	○	○	○
30	計装	入口酸素流量検出器-1	オリフィス式流量計 標準55Nm3/時 最大 80Nm3/時	水処理施設 （反応槽）	平成11年10月		○		○	
31	計装	入口酸素流量検出器-2	オリフィス式流量計 標準55Nm3/時 最大 80Nm3/時	水処理施設 （反応槽）	平成11年10月		○		○	
32	計装	入口酸素流量検出器-3	オリフィス式流量計 標準55Nm3/時 最大 80Nm3/時	水処理施設 （反応槽）	平成13年7月		○		○	
33	計装	入口酸素流量検出器-4	オリフィス式流量計 標準55Nm3/時 最大 80Nm3/時	水処理施設 （反応槽）	平成18年12月		○		○	
34	計装	入口酸素流量検出器-5	オリフィス式流量計 標準55Nm3/時 最大 80Nm3/時	水処理施設 （反応槽）	平成21年3月		○		○	
35	計装	入口酸素流量検出器－6	オリフィス式流量計 標準55Nm3/時 最大 80Nm3/時	水処理施設	令和2年4月		○		○	

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
36	計装	循環酸素流量検出器-1	渦流量計 標準25Nm3/時 最大30Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成11年10月		○		○	
37	計装	循環酸素流量検出器-2	渦流量計 標準25Nm3/時 最大30Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成11年10月		○		○	
38	計装	循環酸素流量検出器-3	渦流量計 標準25Nm3/時 最大30Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成13年7月		○		○	
39	計装	循環酸素流量検出器-4	渦流量計 標準25Nm3/時 最大30Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成18年12月		○		○	
40	計装	循環酸素流量検出器-5	渦流量計 標準25Nm3/時 最大30Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成21年3月		○		○	
41	計装	循環酸素流量検出器-6	渦流量計 標準25Nm3/時 最大30Nm3/時	水処理施設（反応槽）	令和2年4月		○		○	
42	計装	排ガス流量検出器-1	渦流量計 標準27Nm3/時 最大54Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成11年10月	○		○		○
43	計装	排ガス流量検出器-2	渦流量計 標準27Nm3/時 最大54Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成11年10月	○		○		○
44	計装	排ガス流量検出器-3	渦流量計 標準27Nm3/時 最大54Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成13年7月	○		○		○
45	計装	排ガス流量検出器-4	渦流量計 標準27Nm3/時 最大54Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成19年1月	○		○		○
46	計装	排ガス流量検出器-5	渦流量計 標準27Nm3/時 最大54Nm3/時	水処理施設（反応槽）	平成21年3月	○		○		○
47	計装	排ガス流量検出器-6	渦流量計 標準27Nm3/時 最大54Nm3/時	水処理施設	令和2年4月	○		○		○
48	計装	No.1 反応槽 MLSS計検出器	光電反射式混合浮遊物質濃度計 0～10000mg/L	水処理施設（反応槽）	平成11年10月	○	○	○	○	○
49	計装	No.1 反応槽 pH計検出器	ガラス電極磁水素イオン濃度計 0～14PH	水処理施設（反応槽）	平成11年10月	○	○	○	○	○
50	計装	No.1 反応槽 DO計検出器	ガルバニックセル方式 0～20ppm	水処理施設（反応槽）	平成11年10月	○	○	○	○	○
51	計装	No.1 反応槽 温度計検出器	測温抵抗体 0～100℃	水処理施設（反応槽）	平成11年10月	○		○		○
52	計装	No.3 反応槽 MLSS計検出器	光電反射式混合浮遊物質濃度計 0～10000mg/L	水処理施設（反応槽）	平成13年7月	○	○	○	○	○
53	計装	No.3 反応槽 pH計検出器	ガラス電極磁水素イオン濃度計 0～14PH	水処理施設（反応槽）	平成13年7月	○	○	○	○	○
54	計装	No.3 反応槽 DO計検出器	ガルバニックセル方式 0～20ppm	水処理施設（反応槽）	平成13年7月	○	○	○	○	○
55	計装	No.3 反応槽 温度計検出器	測温抵抗体 0～100℃	水処理施設（反応槽）	平成13年7月	○		○		○
56	計装	No6反応槽 MLSS検出器	光電反射式混合浮遊物質濃度計 0～10000mg/L	水処理施設（反応槽）	令和2年4月	○	○	○	○	○
57	計装	No4反応槽 pH計検出器	ガラス電極磁水素イオン濃度計 0～14PH	水処理施設（反応槽）	令和2年4月	○	○	○	○	○
58	計装	No4反応槽 DO計検出器	ガルバニックセル方式 0～20ppm	水処理施設（反応槽）	令和2年4月	○	○	○	○	○
59	計装	No4反応槽 温度計検出器	測温抵抗体 0～100℃	水処理施設（反応槽）	令和2年4月	○	○	○	○	○
60	計装	No.1 酸素発生濃度指示変換器		水処理施設（酸素発生機）	平成11年10月	○	○	○	○	○
61	計装	No.2 酸素発生濃度指示変換器		水処理施設（酸素発生機）	平成13年7月	○	○	○	○	○
62	計装	No3酸素発生濃度指示変換器		水処理施設	令和2年4月	○	○	○	○	○
63	計装	No.1 酸素発生流量指示変換器		水処理施設（酸素発生機）	平成11年10月		○		○	
64	計装	No.2 酸素発生流量指示変換器	オリフィス	水処理施設（酸素発生機）	平成13年7月		○		○	
65	計装	No3酸素発生流量指示変換器		水処理施設（酸素発生機）	令和2年4月		○		○	
66	計装	酸素発生機ヘッダ管圧力指示変換器	機械：差圧伝送器 電気：変換器、ワンループ	水処理施設（酸素発生機）	平成11年10月		○		○	
67	計装	液体酸素流量指示変換器	オリフィス 50A	水処理施設（酸素発生機）	平成11年10月		○		○	
68	計装	脱窒槽ORP-1 指示変換器、検出器	浸漬形	水処理施設（反応槽）	平成11年10月	○	○	○	○	○
69	計装	脱窒槽ORP-2(可搬式) 指示変換器、検出器	浸漬形	水処理施設（反応槽）	平成13年7月	○	○	○	○	○
70	計装	脱窒槽ORP-3(可搬式) 指示変換器、検出器	浸漬形	水処理施設（反応槽）	平成21年6月	○	○	○	○	○
71	計装	脱窒槽ORP-4 指示変換器、検出器	浸漬形	水処理施設（反応槽）	令和2年4月	○	○	○	○	○
72	計装	硝化槽入口酸素流量指示変換器-1	機械：差圧伝送器 電気：変換器、演算器、指示計	水処理施設（反応槽）	平成11年10月		○		○	
73	計装	硝化槽入口酸素流量指示変換器-2	機械：差圧伝送器 電気：変換器、演算器、指示計	水処理施設（反応槽）	平成11年10月		○		○	
74	計装	硝化槽入口酸素流量指示変換器-3	機械：差圧伝送器 電気：変換器、演算器、指示計	水処理施設（反応槽）	平成13年7月		○		○	
75	計装	硝化槽入口酸素流量指示変換器-4	機械：差圧伝送器 電気：変換器、演算器、指示計	水処理施設（反応槽）	平成19年1月		○		○	
76	計装	硝化槽入口酸素流量指示変換器-5	機械：差圧伝送器 電気：変換器、演算器、指示計	水処理施設（反応槽）	平成21年6月		○		○	
77	計装	硝化槽入口酸素流量指示変換器-6	機械：差圧伝送器 電気：変換器、演算器、指示計	水処理施設（反応槽）	令和2年4月		○		○	
78	計装	硝化槽圧力指示変換器、検出器-1	機械：差圧伝送器 電気：変換器、ワンループ	水処理施設（反応槽）	平成11年10月		○		○	
79	計装	硝化槽圧力指示変換器、検出器-2	機械：差圧伝送器 電気：変換器、ワンループ	水処理施設（反応槽）	平成11年10月		○		○	

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
80	計装	硝化槽圧力指示変換器、検出器-3	機械:差圧伝送器 電気:変換器、ワンループ	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月		○		○	
81	計装	硝化槽圧力指示変換器、検出器-4	機械:差圧伝送器 電気:変換器、ワンループ	水処理施設 (反応槽)	平成19年1月		○		○	
82	計装	硝化槽圧力指示変換器、検出器-5	機械:差圧伝送器 電気:変換器、ワンループ	水処理施設 (反応槽)	平成21年6月		○		○	
83	計装	硝化槽圧力指示変換器、検出器-6	機械:差圧伝送器 電気:変換器、ワンループ	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月		○		○	
84	計装	硝化槽DO指示変換器-1	ガルバニックセル方式 0～20ppm	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月	○	○	○	○	○
85	計装	硝化槽DO指示変換器-2	ガルバニックセル方式 0～20ppm	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月	○	○	○	○	○
86	計装	硝化槽DO指示変換器-3	ガルバニックセル方式 0～20ppm	水処理施設 (反応槽)	平成21年3月	○	○	○	○	○
87	計装	硝化槽DO指示変換器-4	ガルバニックセル方式 0～20ppm	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月	○	○	○	○	○
88	計装	硝化槽DO検出器-5	ガルバニックセル方式 0～20ppm	水処理施設 (反応槽)	平成21年3月	○	○	○	○	○
89	計装	硝化槽MLSS指示変換器-1	光電反射式混合浮遊物質濃度計	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月	○	○	○	○	○
90	計装	硝化槽MLSS指示変換器-2	光電反射式混合浮遊物質濃度計	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月	○	○	○	○	○
91	計装	硝化槽MLSS指示変換器-3	光電反射式混合浮遊物質濃度計	水処理施設 (反応槽)	平成21年3月	○	○	○	○	○
92	計装	硝化槽MLSS指示変換器-4	光電反射式混合浮遊物質濃度計	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月	○	○	○	○	○
93	計装	硝化槽MLSS検出器-3	光電反射式混合浮遊物質濃度計	水処理施設 (反応槽)	平成21年3月	○	○	○	○	○
94	計装	硝化槽PH指示変換器-1	ガラス電極磁水素イオン濃度計 0～14PH	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月	○	○	○	○	○
95	計装	硝化槽PH指示変換器-2	ガラス電極磁水素イオン濃度計 0～14PH	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月	○	○	○	○	○
96	計装	硝化槽PH指示変換器-3	ガラス電極磁水素イオン濃度計 0～14PH	水処理施設 (反応槽)	平成21年3月	○	○	○	○	○
97	計装	硝化槽PH指示変換器-4	ガラス電極磁水素イオン濃度計 0～14PH	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月	○	○	○	○	○
98	計装	硝化槽PH検出器-3	ガラス電極磁水素イオン濃度計 0～14PH	水処理施設 (反応槽)	平成21年3月	○	○	○	○	○
99	計装	硝化槽温度指示変換器-1	機械:測温抵抗体 0～100℃ 電気:変換器、指示計	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月		○		○	
100	計装	硝化槽温度指示変換器-2	機械:測温抵抗体 0～100℃ 電気:変換器、指示計	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月		○		○	
101	計装	硝化槽温度指示変換器-3	機械:測温抵抗体 0～100℃ 電気:変換器、指示計	水処理施設 (反応槽)	平成21年3月		○		○	
102	計装	硝化槽温度指示変換器-4	機械:測温抵抗体 0～100℃ 電気:変換器、指示計	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月	○	○	○	○	○
103	計装	硝化槽温度検出器-3	測温抵抗体 0～100℃	水処理施設 (反応槽)	平成21年3月		○		○	
104	計装	No.1 硝化槽排ガス酸素濃度指示変換器	磁気ダンベル方式 屋内自立形 800×830×1950	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月		○		○	
105	計装	No.2 硝化槽排ガス酸素濃度指示変換器	磁気ダンベル方式 屋内自立形 800×830×1950	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月		○		○	
106	計装	No.3 硝化槽排ガス酸素濃度指示変換器	磁気ダンベル方式 屋内自立形 800×830×1950	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月		○		○	
107	計装	No.4 硝化槽排ガス酸素濃度指示変換器	磁気ダンベル方式 屋内自立形 800×830×1950	水処理施設 (反応槽)	平成19年1月		○		○	
108	計装	No.5 硝化槽排ガス酸素濃度指示変換器	渦流量計 標準27Nm3/時 最大54Nm3/時	水処理施設 (反応槽)	平成21年6月	○	○	○	○	○
109	計装	No.6 硝化槽排ガス酸素濃度指示変換器	磁気ダンベル方式 屋内自立形 800×830×1950	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月		○		○	
110	計装	硝化槽排ガス流量指示変換器-1	機械:デルタ形流量計 電気:変換器	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月		○		○	
111	計装	硝化槽排ガス流量指示変換器-2	機械:デルタ形流量計 電気:変換器	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月		○		○	
112	計装	硝化槽排ガス流量指示変換器-3	機械:デルタ形流量計 電気:変換器	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月		○		○	
113	計装	硝化槽排ガス流量指示変換器-4	機械:デルタ形流量計 電気:変換器	水処理施設 (反応槽)	平成19年1月		○		○	
114	計装	硝化槽排ガス流量指示変換器-5	機械:デルタ形流量計 電気:変換器	水処理施設 (反応槽)	平成21年6月		○		○	
115	計装	硝化槽排ガス流量指示変換器-6	機械:デルタ形流量計 電気:変換器	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月		○		○	
116	計装	循環水流量-1	電磁式 350mm	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月		○		○	
117	計装	循環水流量-2	電磁式 350mm	水処理施設 (反応槽)	平成26年2月		○		○	
118	計装	循環水流量-3	電磁式 350mm	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月		○		○	
119	計装	循環水流量-4	電磁式 350mm	水処理施設 (反応槽)	平成19年1月		○		○	
120	計装	循環水流量-5	電磁式 250mm	水処理施設 (反応槽)	平成21年6月		○		○	
121	計装	循環水流量-6	電磁式 300mm	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月	○		○		○

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
122	計装	硝化槽入口 循環酸素流量指示変換器-1	機械:オリフィス　電気:変換器、演算器、指示計	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月		○		○	
123	計装	硝化槽入口 循環酸素流量指示変換器-2	機械:オリフィス　電気:変換器、演算器、指示計	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月		○		○	
124	計装	硝化槽入口 循環酸素流量指示変換器-3	機械:オリフィス　電気:変換器、演算器、指示計	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月		○		○	
125	計装	硝化槽入口 循環酸素流量指示変換器-4	機械:オリフィス　電気:変換器、演算器、指示計	水処理施設 (反応槽)	平成19年1月		○		○	
126	計装	硝化槽入口 循環酸素流量指示変換器-5	機械:オリフィス　電気:変換器、演算器、指示計	水処理施設 (反応槽)	平成21年6月		○		○	
127	計装	硝化槽入口 循環酸素流量指示変換器-6	機械:オリフィス　電気:変換器、演算器、指示計	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月		○		○	
128	計装	循環水ポンプ回転数-1	VVVF	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月	○		○		○
129	計装	循環水ポンプ回転数-2	VVVF	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月	○		○		○
130	計装	循環水ポンプ回転数-3	VVVF	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月	○		○		○
131	計装	循環水ポンプ回転数-4	VVVF	水処理施設 (反応槽)	平成19年1月	○		○		○
132	計装	循環水ポンプ回転数-5	VVVF	水処理施設 (反応槽)	平成21年6月	○		○		○
133	計装	循環水ポンプ回転数-6	VVVF	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月	○		○		○
134	計装	返送汚泥流量-1	電磁式　250mm	水処理施設 (反応槽)	平成11年10月	○		○		○
135	計装	返送汚泥流量-2	電磁式　250mm	水処理施設 (反応槽)	平成26年2月	○		○		○
136	計装	返送汚泥流量-3	電磁式　250mm	水処理施設 (反応槽)	平成13年7月	○		○		○
137	計装	返送汚泥流量-4	電磁式　250mm	水処理施設 (反応槽)	平成19年1月	○		○		○
138	計装	返送汚泥流量-5	電磁式　250mm	水処理施設 (反応槽)	平成21年6月	○		○		○
139	計装	返送汚泥流量-6	電磁式　200mm	水処理施設 (反応槽)	令和2年4月	○		○		○
140	計装	PAC注入ポンプ回転数-1	VS	水処理施設 (薬注)	平成11年10月	○		○		○
141	計装	PAC注入ポンプ回転数-2	VS	水処理施設 (薬注)	平成11年10月	○		○		○
142	計装	PAC注入ポンプ回転数-3	VS	水処理施設 (薬注)	平成21年6月	○		○		○
143	計装	No.1 PAC注入量	VS演算	水処理施設 (薬注)	平成13年7月	○		○		○
144	計装	No.2 PAC注入量	VS演算	水処理施設 (薬注)	平成21年6月	○		○		○
145	計装	No3PAC注入量	VS演算	水処理施設 (薬注)		○		○		○
146	計装	No6PAC注入量	VS演算	水処理施設 (薬注)		○		○		○
147	計装	PAC注入ポンプ設定-1	ﾜﾝﾙｰﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾗ	水処理施設 (薬注)	平成11年10月	○		○		○
148	計装	PAC注入ポンプ設定-2	ﾜﾝﾙｰﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾗ	水処理施設 (薬注)	平成11年10月	○		○		○
149	計装	PAC注入ポンプ設定-3	ﾜﾝﾙｰﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾗ	水処理施設 (薬注)	平成21年6月	○		○		○
150	計装	PAC貯タンク液位	圧力式	水処理施設 (薬注)	平成11年10月	○		○		○
151	計装	No.1苛性ソーダ貯留タンク容量	圧力式	水処理施設 (薬注)	令和2年4月		○		○	
152	計装	No.2苛性ソーダ貯留タンク容量	圧力式	水処理施設 (薬注)	令和2年4月		○		○	
153	計装	No.1苛性ソーダ注入量／制御	VS演算	水処理施設 (薬注)	令和2年4月		○		○	
154	計装	No.2苛性ソーダ注入量／制御	VS演算	水処理施設 (薬注)	令和2年4月		○		○	
155	計装	No.3苛性ソーダ注入量／制御	VS演算	水処理施設 (薬注)	令和2年4月		○		○	
156	計装	No.4苛性ソーダ注入量／制御	VS演算	水処理施設 (薬注)	令和2年4月		○		○	
157	計装	No.5苛性ソーダ注入量／制御	VS演算	水処理施設 (薬注)	令和2年4月		○		○	
158	計装	終沈自動採水器	屋外自立形	水処理施設 (終沈)	平成14年11月	○	○	○	○	○
159	計装	No.1余剰汚泥流量	電磁式　100mm	水処理施設 (終沈)	平成11年10月	○		○		○
160	計装	No.1 返送汚泥濃度指示変換器、検出器	超音波式　350mm	水処理施設 (終沈)	平成11年10月	○		○		○
161	計装	No.2 返送汚泥濃度指示変換器、検出器	超音波式　350mm	水処理施設 (終沈)	平成13年7月	○		○		○
162	計装	No.3 返送汚泥濃度指示変換器、検出器	超音波式　250mm	水処理施設 (終沈)	平成21年6月	○		○		○
163	計装	No.4 返送汚泥濃度指示変換器、検出器	レーザー光式　200mm	水処理施設	令和2年4月	○		○		○
164	計装	返送汚泥ポンプ回転数-1	VVVF	水処理施設 (終沈)	平成11年10月	○		○		○
165	計装	返送汚泥ポンプ回転数-3	VVVF	水処理施設 (終沈)	平成13年7月	○		○		○
166	計装	返送汚泥ポンプ回転数-5	VVVF	水処理施設 (終沈)	平成21年6月	○		○		○
167	計装	返送汚泥ポンプ回転数-6	VVVF	水処理施設 (終沈)	令和2年4月	○		○		○

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
168	計装	No.1 終沈引抜汚泥流量	電磁式 300mm	水処理施設（終沈）	平成26年2月	○		○		○
169	計装	No.2 終沈引抜汚泥流量	電磁式 300mm	水処理施設（終沈）	平成11年10月	○		○		○
170	計装	No.3 終沈引抜汚泥流量	電磁式 300mm	水処理施設（終沈）	平成13年7月	○		○		○
171	計装	No.4 終沈引抜汚泥流量	電磁式 300mm	水処理施設（終沈）	平成19年1月	○		○		○
172	計装	No.5 終沈引抜汚泥流量	電磁式 300mm	水処理施設（終沈）	平成21年6月	○		○		○
173	計装	No6 終沈引抜汚泥流量	電磁式 300mm	水処理施設（終沈）	令和2年4月	○		○		○
174	計装	No.1 終沈スカムピット液位	圧力式	水処理施設（終沈）	平成11年10月	○		○		○
175	計装	No.2 終沈スカムピット液位	圧力式	水処理施設（終沈）	令和2年4月	○		○		○
176	計装	場内返流水流量	P.Bフリューム 300mm	水処理施設	平成11年10月	○	○	○	○	○
177	計装	池内排水ピット液位	投込式	水処理施設	平成11年10月	○		○		○
178	計装	場内返流水量変換器盤	屋外ｽﾀﾝﾄﾞ形 700x700x1600 P.Bﾌﾘｭｰﾑ変換器収納	水処理施設	平成11年10月		○		○	
179	計装	水処理設備計装盤(1)(G-KP-1)	屋内自立形 1000x800x2350	水処理施設	平成11年10月		○		○	
180	計装	水処理設備計装盤(2)(G-KP-2)	屋内自立形 800x800x2350	水処理施設	平成13年7月		○		○	
181	計装	No.1メタノール貯留タンク容量	圧力式	水処理施設（屋外）	令和2年4月		○		○	
182	計装	No.2メタノール貯留タンク容量	圧力式	水処理施設（屋外）	令和2年4月		○		○	
183	計装	No.1メタノール注入量／制御	VS演算	水処理施設（屋外）	令和2年4月		○		○	
184	計装	No.2メタノール注入量／制御	VS演算	水処理施設（屋外）	令和2年4月		○		○	
185	計装	No.3メタノール注入量／制御	VS演算	水処理施設（屋外）	令和2年4月		○		○	
186	計装	No.4メタノール注入量／制御	VS演算	水処理施設（屋外）	令和2年4月		○		○	
187	計装	No.5メタノール注入量／制御	VS演算	水処理施設（屋外）	令和2年4月		○		○	
188	計装	地下タンク液位計	―	電気棟施設	平成11年10月	○		○		○
189	計装	オゾン注入量設定-1	ﾜﾝﾙｰﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾗ	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○		○		○
190	計装	オゾン注入量設定-2	ﾜﾝﾙｰﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾗ	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○		○		○
191	計装	No.1/2 発生オゾン濃度指示変換器		第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
192	計装	発生オゾン調節弁 開度指示変換器-1		第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
193	計装	発生オゾン調節弁 開度指示変換器-2		第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
194	計装	No.1/2 オゾン発生量指示変換器		第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
195	計装	No.1 オゾン消毒槽圧力指示変換器		第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
196	計装	No.1 排オゾン濃度指示変換器		第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
197	計装	No.1 酸素循環ブロワ回転数	VVVF	第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
198	計装	No.2 酸素循環ブロワ回転数	VVVF	第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
199	計装	放流流量	潜水式 400mm	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
200	計装	放流UV指示変換器	浸漬形	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
201	計装	放流COD指示変換器、UV検出器、全窒素・全りん検出器	負荷演算器、UV：浸漬形、TN：紫外線吸光光度法 TP：ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ青吸光光度法	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
202	計装	ポンプ井流入ゲート開度	機械：ポテンション式 電気：変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
203	計装	放流ポンプ吐出弁開度-1	機械：ポテンション式 電気：変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
204	計装	放流ポンプ吐出弁開度-2	機械：ポテンション式 電気：変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
205	計装	放流ポンプ吐出弁開度-3 (No.2-1)	機械：ポテンション式 電気：変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成13年7月		○		○	
206	計装	燃料貯油槽液位	―	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○		○		○
207	計装	放流ポンプ井水位	投込式	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○		○		○
208	計装	吐出井水位	投込式	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○		○		○
209	計装	放流ゲート開度	機械：ポテンション式 電気：変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○		○		○
210	計装	河川放流ゲート開度	機械：ポテンション式 電気：変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成12年9月	○		○		○
211	計装	放流河川水位	機械： 電気：変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成12年9月	○		○		○
212	計装	環境オゾン濃度-1	変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	
213	計装	環境オゾン濃度-2	変換器、指示計	第2ポンプ棟施設	平成12年2月		○		○	

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
214	計装	No1排気オゾン濃度		第2ポンプ棟施設		○		○		○
215	計装	放流水自動採水器	屋内自立形	第2ポンプ棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
216	計装	全窒素・全りん指示変換器	屋内自立形　TN:紫外線吸光光度法	第2ポンプ棟施設	平成16年1月	○	○	○	○	○
217	計装	余剰汚泥貯留槽液位	圧力式(フランジ形)80mm	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
218	計装	No.1 余剰汚泥供給流量	電磁式　80mm	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
219	計装	No.2 余剰汚泥供給流量	電磁式　80mm	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
220	計装	No.1 余剰汚泥供給ポンプ回転数	VVVF	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
221	計装	No.2 余剰汚泥供給ポンプ回転数	VVVF	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
222	計装	No.1 濃縮凝集剤供給量	電磁式　15mm	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
223	計装	No.2 濃縮凝集剤供給量	電磁式　15mm	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
224	計装	No.1 濃縮槽凝集剤供給ポンプ回転数	VVVF	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
225	計装	No.2 濃縮槽凝集剤供給ポンプ回転数	VVVF	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
226	計装	遠心濃縮汚泥貯留槽液位	圧力式(フランジ形)　80mm	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
227	計装	遠心濃縮汚泥流量	電磁式　80mm	汚泥濃縮施設	平成11年11月		○		○	
228	計装	遠心濃縮汚泥濃度計	超音波式 遠心濃縮汚泥濃度計盤:屋内壁掛盤(LCB-Q4B)	汚泥濃縮施設	平成19年3月		○		○	
229	計装	重力濃縮汚泥流量	電磁式　80mm	汚泥重力濃縮施設	平成19年3月		○		○	
230	計装	重力濃縮汚泥濃度	超音波式	汚泥重力濃縮施設	平成19年3月		○		○	
231	計装	濃縮汚泥供給濃度	電磁式	汚泥濃縮施設	平成22年3月	○		○		○
232	計装	風車式風向風速計	風向:シンクロ電気式 風速:光電パルス式	汚泥脱水施設	平成11年10月		○		○	
233	計装	No.1 脱水汚泥貯留槽液位	圧力式(フランジ形)　80mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
234	計装	No.2 脱水汚泥貯留槽液位	圧力式(フランジ形)　80mm	汚泥脱水施設	平成24年9月	○		○		○
235	計装	供給汚泥濃度指示変換器、検出器	超音波式　200mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
236	計装	No.1 汚泥供給ポンプ回転数	VVVF	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
237	計装	No.2 汚泥供給ポンプ回転数	VVVF	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
238	計装	No.3 汚泥供給ポンプ回転数	VVVF	汚泥脱水施設	平成22年3月	○		○		○
239	計装	No.1 脱水汚泥供給流量	電磁式　80mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
240	計装	No.2 脱水汚泥供給流量	電磁式　80mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
241	計装	No.3 脱水汚泥供給流量	電磁式　80mm	汚泥脱水施設	平成22年3月	○		○		○
242	計装	No.1 凝集剤溶解槽液位	圧力式(フランジ形)　80mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
243	計装	No.2 凝集剤溶解槽液位	圧力式(フランジ形)　80mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
244	計装	No.1 脱水機凝集剤注入ポンプ回転数	VVVF	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
245	計装	No.2 脱水機凝集剤注入ポンプ回転数	VVVF	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
246	計装	No.3 脱水機凝集剤注入ポンプ回転数	VVVF	汚泥脱水施設	平成22年3月	○		○		○
247	計装	No.1 脱水機凝集剤供給量	電磁式　50mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
248	計装	No.2 脱水機凝集剤供給量	電磁式　50mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
249	計装	No.3 脱水機凝集剤供給量	電磁式　25mm	汚泥脱水施設	平成22年3月	○		○		○
250	計装	ろ布洗浄水槽水位	圧力式(フランジ形)　80mm	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
251	計装	No.1 ケーキ移送ポンプ回転数	VVVF	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
252	計装	No.2 ケーキ移送ポンプ回転数	VVVF	汚泥脱水施設	平成22年3月	○		○		○
253	計装	No.1 ケーキホッパ重量	ロードセル式	汚泥脱水施設	平成11年11月	○		○		○
254	計装	No.2 ケーキホッパ重量	ロードセル式	汚泥脱水施設	平成22年3月	○		○		○
255	計装	原水槽水位	圧力式	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
256	計装	ろ過池流入水量	電磁式	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
257	計装	No.1 急速ろ過池損失水頭	差圧式	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
258	計装	No.2 急速ろ過池損失水頭	差圧式	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
259	計装	No.3 急速ろ過池損失水頭	差圧式	急速ろ過棟施設	平成13年12月	○		○		○
260	計装	No.4 急速ろ過池損失水頭	差圧式	急速ろ過棟施設	平成19年3月	○		○		○

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
261	計装	逆洗排水槽水位	圧力式	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
262	計装	処理水槽水位	圧力式	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
263	計装	逆洗水流量	電磁式 500mm	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
264	計装	逆洗排水流量	電磁式 500mm	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
265	計装	No.1次亜塩素酸ソーダ貯留槽液位	圧力式	急速ろ過棟施設	平成25年3月	○		○		○
266	計装	次亜注入ポンプ回転数制御-1	VS 演算	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
267	計装	次亜注入ポンプ回転数制御-2	VS 演算	急速ろ過棟施設	平成12年7月	○		○		○
268	計装	A-1循環汚泥流量計	電磁式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
269	計装	A-2循環汚泥流量計	電磁式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
270	計装	B-1循環汚泥流量計	電磁式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
271	計装	A系消化汚泥引抜濃度計	超音波式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
272	計装	B系消化汚泥引抜濃度計	散乱光式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
273	計装	A-1消化タンク上部温度計	測温抵抗体	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
274	計装	A-2消化タンク上部温度計	測温抵抗体	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
275	計装	A-3消化タンク上部温度計	測温抵抗体	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年6月	○		○		○
276	計装	B-1消化タンク上部温度計	測温抵抗体	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
277	計装	A-1消化タンク下部温度計	測温抵抗体	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
278	計装	A-2消化タンク下部温度計	測温抵抗体	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
279	計装	A-3消化タンク下部温度計	測温抵抗体	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年6月	○		○		○
280	計装	B-1消化タンク下部温度計	測温抵抗体	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
281	計装	A-1消化タンク圧力計	差圧式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
282	計装	A-2消化タンク圧力計	差圧式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
283	計装	A-3消化タンク圧力計	差圧式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年6月	○		○		○
284	計装	B-1消化タンク圧力計	差圧式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
285	計装	A-1消化タンクレベル計	圧力式(フランジ形) 80mm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
286	計装	A-2消化タンクレベル計	圧力式(フランジ形) 80mm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
287	計装	A-3消化タンクレベル計	圧力式(フランジ形) 80mm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年6月	○		○		○
288	計装	B-1消化タンクレベル計	圧力式(フランジ形) 80mm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
289	計装	A-1消化汚泥引抜量計	電磁式 100mm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
290	計装	A-2消化汚泥引抜量計	電磁式 100mm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
291	計装	A-3消化汚泥引抜量計	電磁式 100mm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年6月	○		○		○
292	計装	B-1消化汚泥引抜量計	電磁式 100mm	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
293	計装	A-1消化タンク撹拌機軸受温度計	熱電対	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
294	計装	A-2消化タンク撹拌機軸受温度計	熱電対	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
295	計装	A-3消化タンク撹拌機軸受温度計	熱電対	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年6月	○		○		○
296	計装	A-3循環汚泥流量計	電磁式	消化タンク・ボイラー棟施設	平成21年6月	○		○		○
297	計装	ボイラー排煙濃度計	機械:排煙センサ 電気:変換器、警報設定器	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
298	計装	燃料貯留槽レベル計	機械:MSリモコン型 電気:変換器、警報設定器、指示計	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
299	計装	A系余剰燃料ガス流量計	機械:オリフィス 電気:変換器	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
300	計装	A系温水ボイラー燃焼ガス流量計	機械オリフィス 電気:機器なし	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
301	計装	ガスタンク容量計	機械:容量発信器 電気:変換器、警報設定器	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
302	計装	A系消化ガス発生流量計	機械:超音波式 電気:変換器、積算計	消化タンク・ボイラー棟施設	平成17年3月	○		○		○
303	計装	B系消化ガス発生流量計	機械:超音波式 電気:変換器、積算計	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
304	計装	発電装置消化ガス流量	機械:超音波式 電気:変換器、積算計	消化タンク・ボイラー棟施設	平成27年6月	○		○		○
305	計装	気象計器	雨量計、転倒マス型 受水口径200mm	管理棟施設	平成12年2月		○		○	
306	計装	気象計器	気圧	管理棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○
307	計装	気象計器	気温	管理棟施設	平成12年2月	○	○	○	○	○

No.	分類	名称	仕様・規格・定格	区分	設置年	保守点検計画				
						R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
308	計装	流入渠水位	投込式	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月	○	○	○	○	○
309	計装	流入ｹﾞｰﾄ開度-1	ポテンション式	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月		○		○	
310	計装	流入ｹﾞｰﾄ開度-2	ポテンション式	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月		○		○	
311	計装	流入水PH	投込形	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月	○	○	○	○	○
312	計装	ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位(1)	投込式	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月		○		○	
313	計装	ﾎﾟﾝﾌﾟ井水位(2)	差圧式	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月		○		○	
314	計装	吐出弁開度-1	機械:ポテンション式 電気:変換器、指示計	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月		○		○	
315	計装	吐出弁開度-2	機械:ポテンション式 電気:変換器、指示計	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月		○		○	
316	計装	吐出流量	電磁式 500mm	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月	○	○	○	○	○
317	計装	地下燃料タンク液位計	静電容量式 0	相楽中継ポンプ場施設	平成11年2月		○		○	
318	計装	パーマボーラスフリューム流量計(相-8)	超音波式	場外	平成11年5月	○	○	○	○	○
319	計装	パーマボーラスフリューム流量計(山-0-1)	超音波式	場外	平成11年5月	○	○	○	○	○
320	計装	屋外柱上型流量計盤(相-8)	屋外装柱形 600x600x1350h	場外	平成11年5月	○	○	○	○	○
321	計装	屋外柱上型流量計盤(山-0-1)	屋外装柱形 600x600x1350h	場外	平成11年5月	○	○	○	○	○
322	計装	ﾊﾟｰﾏﾎﾞｰﾗｽﾌﾘｭｰﾑ式流量計(相-2)	超音波式	場外	平成11年10月	○	○	○	○	○
323	計装	屋外柱上型流量計盤(相-2)	屋外装柱形 600x600x1350h	場外	平成11年10月	○	○	○	○	○
324	計装	ﾊﾟｰﾏﾎﾞｰﾗｽﾌﾘｭｰﾑ式流量計(下-0-1)	超音波式	場外	平成11年10月	○	○	○	○	○
325	計装	流量計変換器盤(D-IP-3)(下-0-1)	屋外自立形 600x600x1900h	場外	平成11年10月	○	○	○	○	○
326	計装	引込開閉器盤(相-8)	屋外装柱形 300x200x830h	場外	平成11年2月	○	○	○	○	○
327	計装	引込開閉器盤(山-0-1)	屋外装柱形 300x200x830h	場外	平成11年2月	○	○	○	○	○
328	計装	引込開閉器盤(相-2)	屋外装柱形 300x200x830h	場外	平成11年2月	○	○	○	○	○

(6)重油等地下タンク

No.	名称	仕様・規格・定格	区分	点検計画等				
				R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
1	重油地下タンク	10m3	電気棟	○	○※	○	○	○※
2	重油地下タンク	5m3	第2ポンプ棟	○	○※	○	○	○※
3	重油地下タンク	5m3	ガス、ボイラー棟	○	○※	○	○	○※
4	灯油地下タンク	5m3	相楽中継ポンプ場	○	○※	○	○	○※

※日常点検に加え、定期点検を実施

(7)フロン使用機器

対象機器（第一種特定製品）						充填されたフロン類		点検頻度					
設置場所	機器の名称	台数	型式	定格出力(kW)	メーカー	種類	充填量(kg)	簡易点検	定期点検				
									R9	R10	R11	R12	R13
管理棟 2階 空調機械室	ｴｱｺﾝ	1	SRYJ400P-C	11 (5.5×2)	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	9.5	四半期に1回		○			○
管理棟 2階 空調機械室	ｴｱｺﾝ	1	SRYJ400P-C	5.5	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	4.75	四半期に1回					
管理棟 2階テラス (宿直室、仮眠室、ﾒﾝﾃ事務室、作業員控え室)	ｴｱｺﾝ	1	RSNYJ560K	15	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	30.7	四半期に1回			○		
管理棟 2階テラス (事務室)	ｴｱｺﾝ	1	RSNYJ224KA	5.5	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	10.5	四半期に1回					
管理棟 1階 試験室	遠心分離機	1	CF5RE	0.3	日立工機㈱	R-404A	0.23	四半期に1回					
管理棟 1階 試験室	ｲﾝｷｭﾍﾞｰﾀｰ	1	MIR-254S-PJ	0.15	PHC㈱	R-134a	0.14	四半期に1回					
管理棟 1階 試験室	保冷庫	1	MPR-504H-PJ	0.312	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾍﾙｽｹｱ㈱	その他のフロン類	0.115	四半期に1回					
管理棟 地階 換気・空調機械室	ｴｱｺﾝ (室外機)	1	SRYJ400P-C	11 (5.5×2)	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	9.5	四半期に1回		○			○
管理棟 地階 換気・空調機械室	除湿器	1	HDN-8BX	0.1	㈱日立産機ｼｽﾃﾑ	R-22	0.12	四半期に1回					
管理棟 倉庫	保冷庫	1	MPR-504H-PJ	0.312	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾍﾙｽｹｱ㈱	その他のフロン類	0.115	四半期に1回					
脱水機棟3階テラス (1F作業員控室)	ｴｱｺﾝ	1	SHYCJ80KH	2.1	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	3	四半期に1回					
脱水機棟3階テラス (2F仮眠室)	ｴｱｺﾝ	1	SHYGJ56KHT	1.7	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	2.4	四半期に1回					
脱水機棟 機械操作室	ｴｱｺﾝ	1	SPYPJ280P-C	7.5	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	6.4	四半期に1回		○			○
脱水機棟 地階補機室	据置型 ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔｰ	1	HDN-15BX	0.25	㈱日立産機ｼｽﾃﾑ	R-22	0.2	四半期に1回					
急速ろ過棟1階 ブロワ室	据置型 ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔｰ	1	HDN-15BX	0.25	㈱日立産機ｼｽﾃﾑ	R-22	0.2	四半期に1回					
第1ポンプ棟 換気機械室	ｴｱｺﾝ	2	SRPJ200PA-C	5.5	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	4.75	四半期に1回					
ボイラー棟1階 ボイラー室	据置型 ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔｰ	1	HDN-15BE	0.25	㈱日立産機ｼｽﾃﾑ	R-407C	0.16	四半期に1回					
水処理棟 酸素発生機室	据置型 ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔｰ	1	HDB-20AX	0.25	㈱日立産機ｼｽﾃﾑ	R-22	0.26	四半期に1回					
水処理棟 酸素発生機室	据置型 ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔｰ	1	HDB-20AX	0.25	㈱日立産機ｼｽﾃﾑ	R-22	0.26	四半期に1回					

対象機器（第一種特定製品）						充填されたフロン類		点検頻度					
設置場所	機器の名称	台数	型式	定格出力(kW)	メーカー	種類	充填量(kg)	簡易点検	定期点検				
									R9	R10	R11	R12	R13
水処理棟 換気機械室	ｴｱｺﾝ	2	SRPJ200PA-C	5.5	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-22	4.75	四半期に1回					
水処理棟 換気機械室	ｴｱｺﾝ	1	SZVCP450KR	10.5	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-410A	11.7	四半期に1回	○			○	
水処理棟 電気室	北側ｴｱｺﾝ	1	SZVCP224KR	4.6	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-410A	5.6	四半期に1回					
水処理棟 電気室	南側ｴｱｺﾝ	1	SZVCP224KR	4.6	ﾀﾞｲｷﾝ工業㈱	R-410A	5.6	四半期に1回					
自動採水器	流入水	2	LYSAM-S	0.23	㈱ｴﾇｹｰｴｽ	R-134a	0.3	水処理・汚泥処理設備点検整備業務(計装)において実施（本件業務の計上対象外）					
自動採水器	最初沈殿池 (入口・出口)	2	LYSAM-S	0.23	㈱ｴﾇｹｰｴｽ	R-134a	0.3	水処理・汚泥処理設備点検整備業務(計装)において実施（本件業務の計上対象外）					
自動採水器	最終沈殿池 出口	1	LYSAM-S	0.23	㈱ｴﾇｹｰｴｽ	R-134a	0.3	水処理・汚泥処理設備点検整備業務(計装)において実施（本件業務の計上対象外）					
自動採水器	放流水	1	LYSAM-S-6000A-J-W1	0.23	㈱ｴﾇｹｰｴｽ	R-134a	0.3	水処理・汚泥処理設備点検整備業務(計装)において実施（本件業務の計上対象外）					

別紙Ⅳ．施設機能状況の確認･診断手法及び報告書取りまとめの詳細

①　データ収集及び整理

委託者は、現在施設台帳等のデータベース化を進めている。受託者は、運転管理業務の対象となる施設について、保守・点検業務（日常点検、定期点検）、修繕業務（修繕工事・小修繕）及び事故、故障、劣化状況その他施設に関するデータについて整理し、委託者のデータベース入力のための資料及び電子データを提出する。なお、詳細については、委託者と受託者で協議する。

②　現地確認

受託者は、日々の保守・点検記録のなかで実施する現地確認では主要機器の劣化状況、設置状況について目視で確認するものとし、状況に応じて写真により外観の現状を記録し結果を整理する。

③　対象施設の性能評価と機能診断の提案

受託者は、保守・点検記録、機器台帳、補修履歴等、本委託における維持管理・運転管理対象施設にかかる資料等により、各施設の性能について評価し、機能確認面における支障の有無を明らかにするとともに、その結果を踏まえた最適な機能診断の手法を提案するものとする。

④　施設機能状況報告書の作成

受託者は、上記の作業結果を施設機能状況報告書としてとりまとめ、年に一度委託者へ提出する。

別紙Ｖ．水質試験･汚泥性状試験に関する要領

Ｖ－ｉ　総則

（１）この要領は5.6に定める水質試験・汚泥性状試験業務の適正な履行を図るため、必要な事項を定めるものである。

（２）ここで規定する試験の種類及びその内容は、Ｖ－ⅱに示すとおりとする。

（３）試験結果については、試験内容ごとにＶ－ⅳに従って作成した報告書により、委託者に報告するものとする。

（４）受託者は、各試験を実施するに当たり、次の事項に留意しなければならない。

① 各試験の日程については、委託者と協議し、年間計画書を提出すること。

② 各試験を実施するに当たっては、業務計画書を委託者に提出すること。

③ 試験の実施に当たっては、本要領の内容に十分留意すること。

④ 試験内容に関して疑義が生じた場合は、その都度委託者と協議すること。

⑤ 本要領に示す試験方法等により難い場合、又は同等の正確さをもって試験の可能な方法を採用しようとするときは、予め委託者と協議すること。

⑥ 試験結果等に係る委託者からの照会、要請等については、誠意を持って対応すること。

⑦ 試験結果等については、第三者に対し一切公開してはならない。

Ⅴ－ⅱ　試験項目

（１）水処理試験

試験名	試験回数	試料名		試験項目
平常試験１	１回／週	流入下水 初沈流入水 初沈流出水 終沈流出水 放流水	（共通）	水温、透視度、pH、COD、SS
			終沈流出水 放流水	大腸菌数
平常試験２	1回/週	流入下水 初沈流入水 初沈流出水 終沈流出水 放流水		水温、透視度、pH、COD、SS
平常試験３	2回/週	初沈流出水 終沈流出水 放流水	（共通）	水温、pH、COD(1回/週)
			初沈流出水 終沈流出水	透視度、SS
中　試　験	2回/月	流入下水 初沈流入水 初沈流出水 終沈流出水 放流水	（共通）	水温、外観、透視度、pH、BOD、COD、SS、大腸菌数、 蒸発残留物、強熱残留物、強熱減量、溶解性物質、 全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、 硝酸性窒素、有機性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、塩化物イオン、アルカリ度
			流入下水	溶解性BOD、溶解性COD、よう素消費量、硫酸イオン
			初沈流出水	溶解性BOD、溶解性COD
			終沈流出水 放流水	炭素系BOD、溶解性BOD、溶解性COD
富栄養化 試　験	2回/月	流入下水 初沈流入水 初沈流出水 終沈流出水 放流水	（共通）	水温、外観、透視度、pH、BOD、COD、SS、全窒素、 アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、 有機性窒素、全りん、りん酸イオン態りん、 塩化物イオン、アルカリ度
			流入下水	大腸菌数
			初沈流出水	溶解性BOD、溶解性COD
			終沈流出水 放流水	炭素系BOD、溶解性BOD、溶解性COD、大腸菌数
活性汚泥 試　験	5回/週(注1)	硝化槽		水温、pH、MLSS、MLVSS及びMLVSS/MLSS(2回/週)、 SV、SVI、MLDO、Kr(2回/月)
		脱窒槽		水温、pH、DO、ORP
		脱炭酸槽		水温、pH(2回/週)、DO
		返送汚泥		水温、pH、RSSS、RSVSS及びRSVSS/RSSS(2回/週)、 SV、SVI
活性汚泥 生物試験	随　時(注2)	生物反応槽混合液		活性汚泥生物の定性
	2回/月	生物反応槽混合液		活性汚泥生物の定量

(注)　自動採水装置を設置している地点においては、分析日前日から当日までの24時間に採取した試料を用いて試験を行うこと。

なお、水温、DO、pH及び大腸菌数については、スポット採水とする。

(注１)　MLSS及びSV（生物反応槽活性汚泥）については、土日祝日を除く毎日実施する。

(注２)　水処理状況が悪化又は回復傾向にあると判断されるときに実施する。

（2）汚泥性状試験

<table>
<tr><th>試験名</th><th>試験回数</th><th colspan="3">試料名</th><th>試験項目</th></tr>
<tr><td rowspan="4">汚泥・返送水試験</td><td rowspan="3">1回/週</td><td rowspan="3">汚泥</td><td colspan="2">（共通）</td><td>有機分、無機分、</td></tr>
<tr><td>重力式濃縮タンク
　供給汚泥
　濃縮汚泥
機械式濃縮タンク
　供給汚泥
　濃縮汚泥
消化タンク
　移送汚泥(槽ごと)
　消化汚泥
脱水機
　供給汚泥
　脱水ケーキ</td><td>重力式濃縮タンク
　供給汚泥
機械式濃縮タンク
　供給汚泥
脱水機
　供給汚泥</td><td>pH、固形分</td></tr>
<tr><td>重力式濃縮タンク
　濃縮汚泥
機械式濃縮タンク
　濃縮汚泥
消化タンク
　移送汚泥(槽ごと)
　消化汚泥</td><td>pH、固形分、
アルカリ度(1回/月)、
揮発性有機酸(1回/月)</td></tr>
<tr><td>脱水機
　脱水ケーキ</td><td>含水率</td></tr>
<tr><td>2回/月</td><td>返送水</td><td colspan="2">重力式濃縮タンク
　分離液
機械式濃縮タンク
　分離液
消化タンク
　脱離液（通常運転で
　は発生しないため随時実施）
脱水機
　脱水ろ液</td><td>pH、COD、蒸発残留物、強熱減量、
SS、溶解性物質</td></tr>
<tr><td rowspan="3">汚泥・返送水中試験</td><td rowspan="2">4回/年
(毎四半期)</td><td rowspan="2" colspan="2">汚泥
（汚泥・返送水試験
の汚泥試料に同じ）</td><td>（共通）</td><td>全窒素、全りん</td></tr>
<tr><td>重力式濃縮タンク
　供給汚泥
機械式濃縮タンク
　供給汚泥
脱水機
　供給汚泥</td><td>アルカリ度</td></tr>
<tr><td>4回/年
(毎四半期)</td><td colspan="3">返送水
（汚泥・返送水試験の返送水試料に同じ）</td><td>BOD、全窒素、アンモニア性窒素、
亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、
有機性窒素、全りん、
りん酸イオン態りん</td></tr>
<tr><td>消化ガス試験</td><td>1回/月</td><td colspan="3">一次消化タンク（槽ごと）
二次消化タンク（槽ごと）
脱硫器
　入口
　出口</td><td>メタン、水素、二酸化炭素、酸素、
窒素、硫化水素</td></tr>
</table>

（3）その他の試験

試験名	試験回数	試料名	試験項目
CODとUV計の相関測定試験	1回/年	放流水	COD

このほか、Ⅴ－vに掲げる各種の分析がある。

Ⅴ－ⅲ　試験方法及び数値の取り扱い

5.6に定める試験項目別の試験方法及び数値の取り扱いは、次のとおりとする。

（１）水処理関係試験（下水）

項　　目	単位	試験方法(注1)	定量下限	有効数字	最小位
気温	℃	JIS K0102-1 6.2	－	全桁	小数点以下１位
水温	℃	JIS K0102-1 6.3	－	全桁	〃　１位
外観	－	下水試験2.1.3	－	－	－
色度	度	下水試験2.1.4	1	全桁	整数
濁度	度	下水試験2.1.5	2	全桁	〃
透視度	度	下水試験2.1.6	0.1	２桁	小数点以下１位
pH	－	告示第64号	－	全桁	〃　１位
溶存酸素	mg/L	下水試験2.1.19	0.1	２桁	〃　１位
溶存酸素百分率	%	下水試験2.1.20	1	２桁	整数
BOD	mg/L	告示第64号	0.1	３桁	小数点以下１位
炭素系BOD	mg/L	下水試験2.1.21備	0.1	３桁	〃　１位
溶解性BOD（注2）	mg/L	JIS K0102-1 18	0.1	３桁	〃　１位
COD	mg/L	告示第64号	0.1	３桁	〃　１位
溶解性COD（注2）	mg/L	JIS K0102-1 17	0.1	３桁	〃　１位
蒸発残留物	mg/L	下水試験2.1.9	1	３桁	整数
強熱残留物	mg/L	下水試験2.1.10	1	３桁	〃
強熱減量	mg/L	下水試験2.1.11	1	３桁	〃
ＳＳ	mg/L	告示第64号	1	３桁	〃
溶解性物質	mg/L	下水試験2.1.13.2	1	３桁	〃
大腸菌数	CFU/mL	下水検定方法	1	２桁	〃
全窒素	mg/L	告示第64号	0.1	３桁	小数点以下１位
アンモニア性窒素	mg/L		0.1	３桁	〃　１位
亜硝酸性窒素	mg/L		0.01	３桁	〃　２位
硝酸性窒素	mg/L		0.01	３桁	〃　２位
有機性窒素	mg/L		0.1	３桁	〃　１位
全りん	mg/L		0.01	３桁	〃　２位
りん酸イオン態りん	mg/L	下水試験2.1.30.1	0.01	３桁	〃　２位
塩化物イオン	mg/L	下水試験2.1.31.3	0.1	３桁	〃　１位
よう素消費量	mg/L	下水検定方法	0.1	３桁	〃　１位
硫酸イオン	mg/L	下水試験2.1.32.4	0.1	３桁	〃　１位
酸度	mg/l	下水試験2.1.16.1	0.1	３桁	〃　１位
アルカリ度	mg/L	下水試験2.1.15.1	0.1	３桁	〃　１位
残留塩素	mg/L	下水試験2.1.37.1	0.01	２桁	〃　２位

（２） 水処理関係試験（活性汚泥）

項　　目	単位	試験方法（注１）	定量下限	有効数字	最小位
水温	℃	下水試験4.1.2	－	全桁	小数点以下１位
pH	－	下水試験4.1.4	－	全桁	〃　１位
MLSS RSSS	mg/L	下水試験4.1.6.1	1	３桁	整数
MLVSS RSVSS	mg/L	下水試験4.1.7	1	３桁	〃
SV	%	下水試験4.1.8.1	1	２桁	〃
SVI		下水試験4.1.8.2	1	３桁	〃
SDI		下水試験4.1.8.3	0.1	３桁	小数点以下１位
MLDO	mg/L	下水試験4.1.9	0.1	２桁	〃　１位
Kr	mg/g･h	下水試験4.1.10	0.01	３桁	〃　２位
Rr	mg/L･h	下水試験4.1.10	0.1	３桁	〃　１位
KLa	L/h	下水試験4.2.1	0.01	３桁	〃　２位
ORP	mV	下水試験4.1.5	1	３桁	整数

（３） 汚泥処理関係試験（汚泥）

項　　目	単位	試験方法（注１）	定量下限	有効数字	最小位
温度	℃	下水試験5.1.2	－	全桁	小数点以下１位
pH	－	下水試験5.1.5	－	全桁	〃　１位
固形分	%	下水試験5.1.6	0.01	３桁	〃　２位
含水率	%	下水試験5.1.6	0.1	３桁	〃　１位
有機分	%	下水試験5.1.8	0.1	３桁	〃　１位
無機分	%	下水試験5.1.7	0.1	３桁	〃　１位
全窒素	mg/L	下水試験5.1.18.1	0.01	３桁	〃　２位
アンモニア性窒素	mg/L	下水試験5.1.17	0.01	３桁	〃　２位
全りん	mg/L	下水試験5.1.19.2	0.01	３桁	〃　２位
アルカリ度	mg/L	下水試験5.1.13	0.1	３桁	〃　１位
揮発性有機酸	mg/l	下水試験5.1.14.1	0.1	３桁	〃　１位

（注１）　試験方法において使用した略号は以下のものを示す。
「告示第64号」‥‥　排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法（昭和49年環境庁告示第64号）
「下水試験」‥‥‥　下水試験方法（2012年版）
「下水検定方法」‥　下水の水質の検定方法等に関する省令（昭和37年厚生省・建設省令第１号）
（注２）　試料をろ過（孔径１μmガラス繊維ろ紙使用）した後に通常のBOD又はCOD測定を行う。
（注３）　本表の内容以外の試験方法を実施しようとするときは、あらかじめ委託者と協議し、承諾を得ること。

Ⅴ－ⅳ　試験結果の報告

（１）試験結果の報告

試験結果の報告は、各回の試験終了後速やかに提出するものとする。ただし、契約基準Ⅰ、Ⅱ及び排水基準を超える値、あるいはその他異常な値を検出したときは、直ちに委託者にその旨報告するものとする。

（２）数値の取扱い方法

ア　有効数字について

①　気温、水温(温度)、pHは、読取り数値を小数点以下１桁とし、読取った数値はすべて有効数字である。

②　試験操作によって得られた有効数字は、項目ごとにⅤ-ⅲの各表に示す桁数とし、その下の桁をJIS Z8401により丸める。

③　報告最小位は、項目ごとに３の各表のとおりとし、報告最小位の下の桁をJIS Z8401により丸める。

④　定量下限値を下回る数値は、切り捨てとし、「 ＜ 定量下限値 」で表示する。

イ　平均値について

①　報告値を用いて平均値を算出し、有効数字のその下の桁を四捨五入とする。

②　平均値については、定量下限値未満の数値は「０」として算出し、平均値が定量下限値未満となる場合は「 ＜ 定量下限値 」と表示する。

（透視度（＞100）については「100」として算出する。）

③　年平均値は、測定期間内に実施した全てのデータの年間平均とする。

Ｖ－ｖ　分析業務内容

(1) 有害物質等の分析

①実施時期等

別添１により毎月２回、年４回又は年２回実施する。

②調査地点又は試料の種類

２試料（流入下水及び放流水）

採取場所：木津川上流浄化センター（京都府相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97）

③分析項目、分析方法、定量下限及び数値の記載方法

分析項目は別添１、分析方法、定量下限及び数値の記載方法は別添２のとおり

④試料の採取等

採取地点に設置された自動採水装置により､分析日前日から当日までの24時間に採水した試料を用いて分析を実施すること。

なお、水温、pH、大腸菌数及び揮発性有機化合物を分析対象とする試料については、当日スポット採水とする。

(2) 管渠下水水質の分析

①実施時期

年１回実施する。

②調査地点又は試料の種類

別添１のとおり（各採取地点の詳細は、下表を参照）

採取場所	所在地	人孔深さ	備考
人孔 (下狛-0-1)	木津川上流浄化センター　敷地内 (京都府相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97)	約13m	人孔内に入って、自動採水機を設置する必要あり
人孔 (相-5)	新祝園駅西口　ロータリー内車道上 (京都府相楽郡精華町祝園西1丁目　地内)	約8m	人孔内に入って、自動採水機を設置する必要あり
相楽中継ポンプ場	相楽中継ポンプ場　敷地内 (京都府木津川市相楽高下4番地9)	－	建屋内での採水が容易
人孔 (山-0-1)	木津川市道　木津山田川線　歩道上 (京都府木津川市相楽古川　地内)	約6m	人孔内に入って、自動採水機を設置する必要あり

③分析項目、分析方法、定量下限及び数値の記載方法

分析項目は別添１、分析方法、定量下限及び数値の記載方法は別添３のとおり

④試料の採取等

- 管渠又は人孔に入って試料を採取する場合は、酸素濃度及び硫化水素濃度を計測して記録の後、十分安全を確認の上人孔に立ち入ること。
- 試料採取等を公道等で行う場合にあっては、道路管理者及び所管する警察署に必要な手続きを行うとともに、交通整理人等を配置し交通安全に十分配慮して行うこと。

・　受託者が手配した自動採水装置又はポータブル自動採水装置により、分析日前日から当日までの24時間に採水した試料を用いて分析を実施すること。

なお、水温、pH及び有機塩素化合物等に係る試料については、スポット採水とする。

(3) 沈砂･し渣及び脱水ケーキ等有害物質の分析

①実施時期

別添４により年１回又は年２回実施する。

②調査地点又は試料の種類

４試料（沈砂、し渣、脱水ケーキ及び脱硫剤）

採取場所：木津川上流浄化センター（京都府相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97）

③分析項目、分析方法、定量下限及び数値の記載方法

分析項目は別添４、分析方法、定量下限及び数値の記載方法は別添５のとおりとする。

④試料の採取等

受託者が採取した試料を用いて分析を実施すること。

(4) 悪臭物質等の分析

①実施時期

別添６により、年１回又は年２回実施する。

②調査地点又は試料の種類

別添６のとおりとする。

③分析項目、分析方法、定量下限及び数値の記載方法

分析項目は別添６、分析方法は特定悪臭物質の測定の方法（昭和47年環境庁告示第9号）によること。また、定量下限及び数値の記載方法は別添７のとおりとする。

④試料の採取等

受託者が採取装置を設置等して、採取した試料を用いて分析を実施すること。また、発生源出口については、ガス流量の測定を行うこと。

(5) 排ガス等の分析

①実施時期

夏季及び冬季の２回実施する。

②調査地点又は試料の種類

加温用ボイラー　排ガス

採取場所：木津川上流浄化センター（京都府相楽郡精華町大字下狛小字椋ノ木97）

③分析項目、分析方法、定量下限及び数値の記載方法

分析項目、分析方法、定量下限及び数値の記載方法は別添８のとおりとする。

④試料の採取等

受託者が試料採取装置を設置等して、採取した試料を用いて分析を実施すること。

(6) 大気質の分析

①実施時期

夏期及び冬期の２回実施する。

②調査地点又は試料の種類

次の２地点の環境大気

・木津川上流浄化センター（京都府相楽郡精華町下狛椋ノ木97）

・里区集会所（京都府相楽郡精華町大字下狛地内）

③分析項目、分析方法、定量下限及び数値の記載方法

分析項目、分析方法、定量下限及び数値の記載方法は別添９のとおりとする。

④試料の採取等

受託者が試料採取装置を設置等して、採取した試料を用いて分析を実施すること（排ガス試料の採取時間は１時間とする）。

Ⅴ－vi　分析結果の報告

（１）分析結果の報告

分析結果の報告は、各回の分析終了後速やかに計量証明書（JIS A4版）として２部(１（３）の沈砂・し渣及び脱水ケーキ等有害物質の分析のみ３部）提出するものとする。なお、添付資料のうち、（２）⑥及び⑦に掲げるものについては１部提出でよい。

（２）報告書の内容

報告書の内容については、次の構成とすること。

ただし、「有害物質等の分析」においては⑤～⑦の添付を略することができる。

①結果及び考察等の要約又は総括

②分析結果（計量証明書等）

③分析方法、定量下限及び数値の記載方法一覧

④分析結果と各種基準等との比較並びに考察

⑤試料採取地点略図

⑥分析時に記録されたチャート紙や使用した検量線等の写しであって､分析条件などを記録したもの

⑦ 試料採取現場状況（安全対策及び交通整理人等の状況を含む）写真

（３）数値の取扱い方法

①　有効数字について

ア　気温、水温(温度)及びｐＨは、読取数値を小数点以下１桁とし、読み取った数値はすべて有効数字である。

イ　分析操作によって得られた有効数字は項目ごとに各別添に示す桁数とし、その下の桁をJIS Z8401により丸める。

ウ　報告最小位は項目ごとに各別添のとおりとし、報告最小位の下の桁をJIS Z8401により丸める。

エ　定量下限値を下回る数値は切り捨てとし、「 ＜ 定量下限値 」で表示する。

②　平均値について

ア　報告値を用いて平均値を算出し、有効数字のその下の桁を四捨五入とする。

イ　平均値については、定量下限値未満の数値は「０」として算出し、平均値が定量下限値未満となる場合は「 ＜ 定量下限値 」と表示する。

ウ　年平均値は､測定期間内に実施した全てのデータの年間平均とする｡また､年間の最大値、最小値についても同様に扱う。

別添１　有害物質等の分析、管渠下水水質の分析　分析項目等一覧表

分析業務名		有害物質等の分析		管渠下水水質の分析			
試料名称等 / 分析項目		流入下水	放流水	下狛幹線	相楽幹線	相楽幹線	山田川幹線
				下-0-1	相-5	相Ｐ	山-0-1
基本項目	気温	月2回	月2回	年1回	年1回	年1回	年1回
	水温	〃	〃	〃	〃	〃	〃
ｐＨ			月2回	〃	〃	〃	〃
ＢＯＤ			〃	〃	〃	〃	〃
ＣＯＤ			〃	〃	〃	〃	〃
ＳＳ			〃	〃	〃	〃	〃
ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質(鉱物油)		年2回	〃	〃	〃	〃	〃
ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質(動植物油)		〃	〃	〃	〃	〃	〃
大腸菌数			〃	〃	〃	〃	〃
全窒素			〃	〃	〃	〃	〃
アンモニア性窒素				〃	〃	〃	〃
亜硝酸性窒素				〃	〃	〃	〃
硝酸性窒素				〃	〃	〃	〃
全りん			月2回	〃	〃	〃	〃
よう素消費量				〃	〃	〃	〃
硫酸イオン				〃	〃	〃	〃
カドミウム		月2回	月2回	〃	〃	〃	〃
シアン		年2回	〃	年1回 (R9)	年1回 (R9)	年1回 (R9)	年1回 (R9)
有機りん		〃	〃	〃	〃	〃	〃
鉛		月2回	〃	年1回	年1回	年1回	年1回
六価クロム		年2回	〃	年1回 (R9)	年1回 (R9)	年1回 (R9)	年1回 (R9)
ひ素		〃	〃	〃	〃	〃	〃
総水銀		〃	〃	〃	〃	〃	〃
アルキル水銀		〃	〃	〃	〃	〃	〃
ＰＣＢ		〃	〃	〃	〃	〃	〃
トリクロロエチレン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
テトラクロロエチレン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
ジクロロメタン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
四塩化炭素		〃	〃	〃	〃	〃	〃
1,2-ジクロロエタン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
1,1-ジクロロエチレン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
シス-1,2-ジクロロエチレン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
1,1,1-トリクロロエタン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
1,1,2-トリクロロエタン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
1,3-ジクロロプロペン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
チウラム		〃	〃	〃	〃	〃	〃
シマジン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
チオベンカルブ		〃	〃	〃	〃	〃	〃
ベンゼン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
セレン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
ほう素		月2回	〃	年1回	年1回	年1回	年1回
ふっ素		〃	〃	〃	〃	〃	〃
1,4-ジオキサン		年2回	〃	年1回 (R9)	年1回 (R9)	年1回 (R9)	年1回 (R9)
フェノール類		年4回	〃	年1回	年1回	年1回	年1回
銅		年2回	〃	〃	〃	〃	〃
亜鉛		〃	〃	〃	〃	〃	〃
溶解性鉄		〃	〃	〃	〃	〃	〃
溶解性マンガン		〃	〃	〃	〃	〃	〃
全クロム		〃	〃	年1回 (R9)	年1回 (R9)	年1回 (R9)	年1回 (R9)
ニッケル		〃	〃	〃	〃	〃	〃
陰イオン界面活性剤			年4回				
非イオン界面活性剤			〃				

備考　　管渠下水水質の分析のうち、「年1回 (R9)」とした分析項目は令和９年度のみ年１回実施とする。

別添２　有害物質等の分析　分析方法及び数値の記載方法

分析項目		単位	定量下限	有効数字	報告最小位	分析方法
基本項目	気温	℃	－	全桁	小数点以下１位	JIS K0102-1 6.2
	水温	℃	－	全桁	小数点以下１位	JIS K0102-1 6.3
ｐＨ		－	－	全桁	小数点以下１位	告示64号
ＢＯＤ		mg/L	0.1	３桁	小数点以下１位	
ＣＯＤ		mg/L	0.1	３桁	小数点以下１位	
ＳＳ		mg/L	1	３桁	整数１位	
ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質(鉱物油)		mg/L	0.5	２桁	小数点以下１位	告示64号又は下水試験2.1.40
ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質(動植物油)		mg/L	0.5	２桁	小数点以下１位	
大腸菌数		CFU/mL	1	３桁	整数１位	下水検定方法
全窒素		mg/L	0.1	３桁	小数点以下１位	告示64号
全りん		mg/L	0.01	３桁	小数点以下２位	
カドミウム		mg/L	0.003	２桁	小数点以下３位	
シアン		mg/L	0.05	２桁	小数点以下２位	
有機りん		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
鉛		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
六価クロム		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
ひ素		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
総水銀		mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
アルキル水銀		mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
ＰＣＢ		mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
トリクロロエチレン		mg/L	0.008	２桁	小数点以下３位	
テトラクロロエチレン		mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
ジクロロメタン		mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
四塩化炭素		mg/L	0.0002	２桁	小数点以下４位	
1,2-ジクロロエタン		mg/L	0.0004	２桁	小数点以下４位	
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
シス-1,2-ジクロロエチレン		mg/L	0.004	２桁	小数点以下３位	
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	0.03	２桁	小数点以下２位	
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	0.0006	２桁	小数点以下４位	
1,3-ジクロロプロペン		mg/L	0.0002	２桁	小数点以下４位	
チウラム		mg/L	0.0006	２桁	小数点以下４位	
シマジン		mg/L	0.0003	２桁	小数点以下４位	
チオベンカルブ		mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
ベンゼン		mg/L	0.001	２桁	小数点以下３位	
セレン		mg/L	0.001	２桁	小数点以下３位	
ほう素		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
ふっ素		mg/L	0.1	２桁	小数点以下１位	
1,4-ジオキサン		mg/L	0.005	２桁	小数点以下３位	
フェノール類		mg/L	0.02	２桁	小数点以下２位	
銅		mg/L	0.02	２桁	小数点以下２位	
亜鉛		mg/L	0.02	２桁	小数点以下２位	
溶解性鉄		mg/L	0.08	２桁	小数点以下２位	
溶解性マンガン		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
全クロム		mg/L	0.03	２桁	小数点以下２位	
ニッケル		mg/L	0.05	２桁	小数点以下２位	JIS K0102-3
陰イオン界面活性剤		mg/L	0.1	２桁	小数点以下１位	JIS K0102-4 6.2 又は 下水試験2.1.41.1
非イオン界面活性剤		mg/L	0.02	２桁	小数点以下２位	告示261号

備考　１　「分析方法」の欄において使用した略号は、次のものを示す。

「告示64号」・・・・・・・・　排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法（昭和49年環境庁告示第64号）

「下水試験」・・・・・・・・　下水試験方法（2012年版）

「下水検定方法」・・・・　下水の水質の検定方法等に関する省令（昭和37年厚生省・建設省令第１号）

「告示261号」・・・・・・・　水質基準に関する省令の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成15年厚生労働省告示第261号）

２　試料の取扱いや前処理等については、参照する法令、告示又はJIS等に従うこと。

別添３　管渠下水水質の分析　分析方法及び数値の記載方法

分析項目		単位	定量下限	有効数字	報告最小位	分析方法
基本項目	気温	℃	－	全桁	小数点以下１位	JIS K0102-1 6.2
	水温	℃	－	全桁	小数点以下１位	下水検定方法
ｐＨ		－	－	全桁	小数点以下１位	
ＢＯＤ		mg/L	0.1	３桁	小数点以下１位	
ＳＳ		mg/L	1	３桁	整数１位	告示64号
ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質(鉱物油)		mg/L	0.5	２桁	小数点以下１位	告示64号及び
ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質(動植物油)		mg/L	0.5	２桁	小数点以下１位	下水試験 2.1.40
全窒素		mg/L	0.1	３桁	小数点以下１位	下水検定方法
アンモニア性窒素		mg/L	0.1	３桁	小数点以下１位	告示64号
亜硝酸性窒素		mg/L	0.01	３桁	小数点以下２位	
硝酸性窒素		mg/L	0.01	３桁	小数点以下２位	
全燐		mg/L	0.01	３桁	小数点以下２位	下水検定方法
沃素消費量		mg/L	0.1	３桁	小数点以下１位	下水試験 2.1.35
硫酸イオン		mg/L	0.1	３桁	小数点以下１位	下水試験 2.1.32.4
カドミウム		mg/L	0.003	２桁	小数点以下３位	告示64号
シアン		mg/L	0.05	２桁	小数点以下２位	
有機燐		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
鉛		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
六価クロム		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
砒素		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
総水銀		mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
アルキル水銀		mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
ＰＣＢ		mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
トリクロロエチレン		mg/L	0.008	２桁	小数点以下３位	
テトラクロロエチレン		mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
ジクロロメタン		mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
四塩化炭素		mg/L	0.0002	２桁	小数点以下４位	
1,2-ジクロロエタン		mg/L	0.0004	２桁	小数点以下４位	
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
シス-1,2-ジクロロエチレン		mg/L	0.004	２桁	小数点以下３位	
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	0.03	２桁	小数点以下２位	
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	0.0006	２桁	小数点以下４位	
1,3-ジクロロプロペン		mg/L	0.0002	２桁	小数点以下４位	
チウラム		mg/L	0.0006	２桁	小数点以下４位	
シマジン		mg/L	0.0003	２桁	小数点以下４位	
チオベンカルブ		mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
ベンゼン		mg/L	0.001	２桁	小数点以下３位	
セレン		mg/L	0.001	２桁	小数点以下３位	
ほう素		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
ふっ素		mg/L	0.1	２桁	小数点以下１位	
1,4-ジオキサン		mg/L	0.005	２桁	小数点以下３位	
フェノール類		mg/L	0.02	２桁	小数点以下２位	
銅		mg/L	0.02	２桁	小数点以下２位	
亜鉛		mg/L	0.02	２桁	小数点以下２位	
溶解性鉄		mg/L	0.08	２桁	小数点以下２位	
溶解性マンガン		mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
全クロム		mg/L	0.03	２桁	小数点以下２位	
ニッケル		mg/L	0.05	２桁	小数点以下２位	JIS K0102-3

備考　１　「分析方法」の欄において使用した略号は、次のものを示す。

「告示64号」・・・・・・・・　排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法（昭和49年環境庁告示第64号）

「下水試験」・・・・・・・・　下水試験方法（2012年版）

「下水検定方法」・・・・　下水の水質の検定方法等に関する省令（昭和37年厚生省・建設省令第１号）

２　試料の取扱いや前処理等については、参照する法令、告示又はJIS等に従うこと。

別添４　沈砂・し渣及び脱水ケーキ等有害物質の分析　分析項目等一覧表

◎溶出試験

分析項目＼試料名		沈砂	し渣	脱水ケーキ	脱硫剤
溶出試験	アルキル水銀化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	水銀又はその化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	カドミウム又はその化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	鉛又はその化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	有機りん化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	六価クロム化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	砒素又はその化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	シアン化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	ＰＣＢ	年１回	年１回	年２回	年１回
	トリクロロエチレン	年１回	年１回	年２回	年１回
	テトラクロロエチレン	年１回	年１回	年２回	年１回
	ジクロロメタン	年１回	年１回	年２回	年１回
	四塩化炭素	年１回	年１回	年２回	年１回
	1,2-ジクロロエタン	年１回	年１回	年２回	年１回
	1,1-ジクロロエチレン	年１回	年１回	年２回	年１回
	シス-1,2-ジクロロエチレン	年１回	年１回	年２回	年１回
	1,1,1-トリクロロエタン	年１回	年１回	年２回	年１回
	1,1,2-トリクロロエタン	年１回	年１回	年２回	年１回
	1,3-ジクロロプロペン	年１回	年１回	年２回	年１回
	チウラム	年１回	年１回	年２回	年１回
	シマジン	年１回	年１回	年２回	年１回
	チオベンカルブ	年１回	年１回	年２回	年１回
	ベンゼン	年１回	年１回	年２回	年１回
	セレン又はその化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	1,4-ジオキサン	年１回	年１回	年２回	年１回
含有試験	水銀及びその化合物	年１回	年１回	年２回	年１回
	含水率	年１回	年１回	年２回	年１回

別添５　沈砂・し及び脱水ケーキ等有害物質の分析　分析方法及び数値の記載方法

◎溶出試験

分　析　項　目	単位	定量下限	有効数字	報告最小位	分　析　方　法
アルキル水銀化合物	mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.003	２桁	小数点以下３位	
鉛又はその化合物	mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
有機燐化合物	mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
六価クロム化合物	mg/L	0.04	２桁	小数点以下２位	
砒素又はその化合物	mg/L	0.01	２桁	小数点以下２位	
シアン化合物	mg/L	0.1	２桁	小数点以下１位	
ＰＣＢ	mg/L	0.0005	２桁	小数点以下４位	
トリクロロエチレン	mg/L	0.008	２桁	小数点以下３位	
テトラクロロエチレン	mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
ジクロロメタン	mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
四塩化炭素	mg/L	0.0002	２桁	小数点以下４位	告示13号
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	２桁	小数点以下４位	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004	２桁	小数点以下３位	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.03	２桁	小数点以下２位	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006	２桁	小数点以下４位	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002	２桁	小数点以下４位	
チウラム	mg/L	0.0006	２桁	小数点以下４位	
シマジン	mg/L	0.0003	２桁	小数点以下４位	
チオベンカルブ	mg/L	0.002	２桁	小数点以下３位	
ベンゼン	mg/L	0.001	２桁	小数点以下３位	
セレン又はその化合物	mg/L	0.001	２桁	小数点以下３位	
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005	２桁	小数点以下３位	

◎含有試験

分　析　項　目	単位	定量下限	有効数字	報告最小位	分　析　方　法
水銀又はその化合物	mg/kg	0.01	２桁	小数点以下２位	底質調査方法15.4
含水率	%	0.01	２桁	小数点以下２位	下水試験5.1.6

備考　１　「分析方法」の欄において使用した略号は、次のものを示す。
「告示13号」・・・・・・・・　産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法（昭和48年環境庁告示第13号）
「底質調査方法」・・・・　底質調査方法について（平成24年8月8日付け環水大水発第120725002号）
「下水試験」・・・・・・・・　下水試験方法（2012年版）

２　試料の取扱いや前処理等については、参照する法令、告示又はJIS等に従うこと。
３　含有試験の「水銀又はその化合物」の測定については、水銀廃棄物ガイドライン（令和8年3月）を参考にすること。

別添６　悪臭物質等の分析　分析項目等一覧表

分析項目 ＼ 試料採取地点		ガス試料																			液体試料	検体数（放流水含む）
		木津川上流浄化センター												相楽中継ポンプ場						里区	木津川上流浄化センター	
		脱臭装置入口①	脱臭装置入口②	脱臭装置入口③	脱臭装置入口④	排出口①	排出口②	排出口③	排出口④	敷地境界①	敷地境界②	敷地境界③	敷地境界④	脱臭装置入口	排出口	敷地境界①	敷地境界②	敷地境界③	敷地境界④	敷地境界	放流水	
		第1ポンプ棟	水処理棟	濃縮棟	脱水機棟	第1ポンプ棟	水処理棟	濃縮棟	脱水機棟													
		年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年2回	年2回	年2回	年2回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年2回	年1回	
基本項目	天候									○	○	○	○			○	○	○	○	○		14
	温度									○	○	○	○			○	○	○	○	○		14
	湿度									○	○	○	○			○	○	○	○	○		14
	気圧									○	○	○	○			○	○	○	○	○		14
	風速・風向									○	○	○	○			○	○	○	○	○		14
	ガス流量					○	○	○	○						○							5
アンモニア		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		24
メチルメルカプタン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25
硫化水素		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25
硫化メチル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25
二硫化メチル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25
トリメチルアミン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		24
アセトアルデヒド		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		24
プロピオンアルデヒド		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
ノルマルブチルアルデヒド		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
イソブチルアルデヒド		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
ノルマルバレルアルデヒド		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
イソバレルアルデヒド		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
イソブタノール		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
酢酸エチル		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
メチルイソブチルケトン		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
トルエン		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
スチレン		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
キシレン		○(R9)	○(R9)	○(R9)	○(R9)					○	○	○	○	○(R9)						○		10(15)
プロピオン酸		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		24
ノルマル酪酸		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(R9)						○		18(19)
ノルマル吉草酸		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(R9)						○		18(19)
イソ吉草酸		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(R9)						○		18(19)

備考　　○は各年記載の回数、○(R9)は令和９年度のみ年１回分析することとするが、○(R9)で検出された物質は協議の上、次年度以降当該脱臭装置入口及び対応する排出口並びに敷地境界において引き続き分析することとする。「検体数」欄の（　）内は、令和９年度の検体数を表す。

別添７　悪臭物質等の分析　数値の取扱い方法

分　析　項　目		単位	定量下限	有効数字	報告最小位
基本項目	天候	－	－	－	－
	温度	℃	－	全桁	小数点以下1位
	湿度	%	－	全桁	小数点以下1位
	気圧	kPa	－	全桁	小数点以下1位
	風速	m/s	－	全桁	小数点以下1位
	風向	－	－	－	－
	ガス流量	m^3/s	－	全桁	整数1位
ガス試料	アンモニア	ppm	0.1	２桁	小数点以下1位
	メチルメルカプタン	ppm	0.001	２桁	小数点以下3位
	硫化水素	ppm	0.001	２桁	小数点以下3位
	硫化メチル	ppm	0.001	２桁	小数点以下3位
	二硫化メチル	ppm	0.001	２桁	小数点以下3位
	トリメチルアミン	ppm	0.001	２桁	小数点以下3位
	アセトアルデヒド	ppm	0.01	２桁	小数点以下2位
	プロピオンアルデヒド	ppm	0.01	２桁	小数点以下2位
	ノルマルブチルアルデヒド	ppm	0.002	２桁	小数点以下3位
	イソブチルアルデヒド	ppm	0.002	２桁	小数点以下3位
	ノルマルバレルアルデヒド	ppm	0.002	２桁	小数点以下3位
	イソバレルアルデヒド	ppm	0.001	２桁	小数点以下3位
	イソブタノール	ppm	0.2	２桁	小数点以下1位
	酢酸エチル	ppm	0.5	２桁	小数点以下1位
	メチルイソブチルケトン	ppm	0.5	２桁	小数点以下1位
	トルエン	ppm	0.5	２桁	小数点以下1位
	スチレン	ppm	0.05	２桁	小数点以下2位
	キシレン	ppm	0.3	２桁	小数点以下1位
	プロピオン酸	ppm	0.0004	２桁	小数点以下4位
	ノルマル酪酸	ppm	0.0004	２桁	小数点以下4位
	ノルマル吉草酸	ppm	0.0004	２桁	小数点以下4位
	イソ吉草酸	ppm	0.0004	２桁	小数点以下4位
液体試料	メチルメルカプタン	mg/L	0.002	２桁	小数点以下3位
	硫化水素	mg/L	0.002	２桁	小数点以下3位
	硫化メチル	mg/L	0.004	２桁	小数点以下3位
	二硫化メチル	mg/L	0.02	２桁	小数点以下2位

別添８　排ガス等の分析　分析項目等一覧表、分析方法及び数値の取扱い方法

分析項目		単位	分析方法	定量下限	有効数字	報告最小位
基本項目	排ガス組成	%	JIS K0301及び JIS K0098	0.1	３桁	小数点以下1位
	排ガス温度	℃	JIS Z8808	－	全桁	整数1位
	排ガス流速	m/s		－	全桁	小数点以下1位
	水分量	%		0.1	３桁	小数点以下1位
	湿り排ガス量	Nm^3/h		－	３桁	整数1位
	乾き排ガス量	Nm^3/h		－	３桁	整数1位
ばいじん		g/Nm^3		0.001	２桁	小数点以下3位
硫黄酸化物		cm^3/Nm^3	JIS K0103	1	２桁	整数1位
窒素酸化物		cm^3/Nm^3	JIS K0104	1	２桁	整数1位

備考　　試料の取扱いや前処理等については、参照する法令、告示又はJIS等に従うこと。

別添９　大気質分析　分析項目等一覧表、分析方法及び数値の取扱い方法

種類	分析項目	単位	分析方法	定量下限	有効数字	報告最小位
基本項目	気温	℃	－	－	全桁	小数点以下1位
	湿度	%		－	全桁	小数点以下1位
	風速	m/s		－	全桁	小数点以下1位
	風向	－		－	－	－
二酸化硫黄(SO_2)		ppm	JIS K0103 に準拠	0.001	２桁	小数点以下1位
一酸化炭素(NO)		ppm	JIS K0104 に準拠	0.001	２桁	小数点以下1位
二酸化窒素(NO_2)		ppm		0.001	２桁	小数点以下3位

備考　　試料の取扱いや前処理等については、参照する法令、告示又はJIS等に従うこと。

別紙 Ⅵ．精度管理方法

Ⅵ－ⅰ　内部精度管理

分析精度を保つために一般的に行われている事項の例を示す。

内部精度管理では、それらが適正に行われていることを受託者自ら確認する。

表 Ⅵ-ⅰ-①　精度管理事項の例

管理事項	具体例
物品の管理	・分析器具の取扱い（器具類の洗浄方法、保管方法等） ・分析機器の維持管理（分析装置のメンテナンス等） ・試薬、標準物質等の管理（保存条件、有効期限等）
手順の管理	・試験操作等を記したマニュアル類の管理 ・試料の採取方法 ・試料の運搬、保管方法 ・前処理操作の手順 ・分析機器の操作・測定手順 ・データ処理方法 ・分析担当者の教育、訓練
記録の管理	・測定原データの取扱い、記録法

また、次の試験を行い、その結果を評価、記録して管理する。

①　操作ブランクの測定（空試験）

②　添加回収試験

③　二重測定、併行試験

④　感度の測定

Ⅵ－ⅱ　外部精度管理

既存の共同試験への参加や、共通の試料を用いて複数の外部機関と一斉に共同試験を行う。

表 Ⅵ-ⅱ-①　外部精度管理試験の例

試験名	実施（所管）機関
環境測定分析統一精度管理調査	環境省、日本環境衛生センター
水道水質検査精度管理	厚生労働省
ISO/IEC 17043（JIS Q 17043）に基づく技能試験	（公社）日本分析化学会 （一社）日本環境測定分析協会

出典：「下水道試験方法－2012」より

Ⅵ－ⅲ　府が実施する精度管理への協力

受託者は、府が分析データの信頼性を確認するために実施する精度管理に協力しなければならない。府から求めがあった場合、受託者は次の事項に応じるものとする。

①府が指定する試料の分析及び結果の報告

②測定原データ、精度管理記録、試験操作マニュアル類その他関係書類の提出

③分析施設への立入り及び分析状況の確認への対応

④精度管理の結果、改善を要すると認められた場合の是正措置の実施及び報告

別紙 Ⅶ．清掃業務要領

Ⅶ－ⅰ　実施項目

5.7.1に定める清掃業務は、木津川上流浄化センターにおいて、建築物の衛生環境の確保に関する法律（昭和45年法律第20号）に基づく清掃を目的としており、本要領に従い業務を実施する。

なお、業務執行に当たり疑義が生じたときは、（財）建築保全センター発行「建築保全業務共通仕様書」を参考にするとともに、受託者と協議し、その指示に従うこと。

	項　　目	実　施　時　期	摘　　要
1	日常清掃業務	土曜日、日曜日、祝日及び12月29日から翌年１月３日までを除く 令和9年度　243日 令和10年度　242日 令和11年度　245日 令和12年度　243日 令和13年度　244日	午前8時30分から午後4時30分までの時間帯とする。 ごみ及び厨芥処理は、午後4時以降とする。
2	定期清掃業務	年４回とし、その時期は、６月、９月、12月及び翌年３月とする。	
3	窓ガラス清掃	年３回とし、その時期は、８月、12月及び翌年３月とする。	

Ⅶ－ⅱ　留意事項

(1) 床の清掃

区　　分		内　　容
除塵		① 自在箒又はフロアスターによる除塵 自在箒又はフロアスター（タストモップ）で丁寧に拭き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。
水拭き	部分水拭き	汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	全面水拭き	床全面をモップで丁寧に拭き上げる。
表面洗浄		① 床面の除塵を行う。 ② 適正に希釈した表面洗浄用洗剤をモップでむらのないように塗布する。 ③ 洗浄用ブラシ等を装着した床磨き機で皮膜表面の汚れを洗浄する。 ④ 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。 ⑤ ２回以上水拭きを行って、汚水や洗剤を除去した後、十分に乾燥させる。 ⑥ 樹脂床維持剤を塗り残し・むらのないように塗布し、十分乾燥した後、塗り重ねる。 ⑦ 樹脂床維持剤の塗布回数は、通常２回、被膜の損傷が著しい場合は、３回とする(塗布標準量１ℓ/100m^3/１日)
洗　　浄		① 床面の除塵を行う。 ② 床面を十分にぬらした後、適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布する。 ③ 床磨き機で皮膜表面の汚れを洗浄する。 ④ 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。 ⑤ ２回以上水拭きを行って、汚水や洗剤を除去した後、十分に乾燥させる。

(2) 床以外の清掃

区　　分	内　　容
ホール等共用部	吸殻処理、ごみ処理及び部分除塵、扉ガラス部分拭き、階段部手摺拭き等
便所及び洗面所	ごみ処理、便所へだて部分拭き、洗面台拭き、鏡拭き、衛生陶器洗浄、消耗品補充及び汚物処理等
湯　　沸　　室	厨芥処理、ごみ処理、吸殻処理、フロアマット除塵等

(3) 窓ガラスの清掃

区　　分	内　　容
窓ガラス清掃(洗浄)	① ガラス面に適正に希釈した中性洗剤を塗布し、汚れを除去して、ガラスフィージーで汚水を切る。 ② ガラス回りのサッシをタオルで拭き取る(サッシの溝やサッシ全体の清掃は含まない)

(4) 提出書類

業務計画書（業務内訳書、年間実施工程、実施体制等）については、契約締結後１週間以内に提出すること。

実施業務毎の業務計画書については、実施１週間前までに提出するものとし、各業務が定期的に実施されることから、各業務の完了毎に下記書類を提出すること。

業　務　名	提出書類	部数	提出期限
日常清掃業務	別途指示		毎日
定期清掃業務	業務報告書（４回） 作業写真(Ａ４版アルバム)	報告書 各１部 写真 各１部	業務完了後
窓ガラス清掃業務	業務報告書（３回） 作業写真(Ａ４版アルバム)		

(5) その他

清掃員控室

区　　分	場　　所	備　　考
管理棟 脱水機棟	脱水機棟控室	

別紙 VIII．調達物品の予定数量及び規格等

5.7.2に定める調達物品の名称、予定数量及び規格は、次のとおりとする。

<table>
<tr><th>物 品 名</th><th>予 定 数 量</th><th>規　　格</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>次亜塩素酸
ナトリウム</td><td>合計 195,000 kg
R9 39,000 kg
R10 39,000 kg
R11 39,000 kg
R12 39,000 kg
R13 39,000 kg</td><td>12%水溶液</td><td>1回の納入量
約2,000kg
ﾀﾝｸﾛｰﾘｰにて搬入</td></tr>
<tr><td>ポリ塩化
アルミニウム</td><td>合計 3,408,000 kg
R9 681,000 kg
R10 681,000 kg
R11 682,000 kg
R12 682,000 kg
R13 682,000 kg</td><td>11%水溶液</td><td>1回の納入量
約10,000kg
ﾀﾝｸﾛｰﾘｰにて搬入</td></tr>
<tr><td>高分子凝集剤
（脱水機用）</td><td>合計 160,000 kg
R9 32,000 kg
R10 32,000 kg
R11 32,000 kg
R12 32,000 kg
R13 32,000 kg</td><td></td><td rowspan="2">1回の納入量
約900kg
15kg 入り防湿
二重袋詰め</td></tr>
<tr><td>高分子凝集剤
（濃縮機用）</td><td>合計 25,000 kg
R9 5,000 kg
R10 5,000 kg
R11 5,000 kg
R12 5,000 kg
R13 5,000 kg</td><td></td></tr>
<tr><td>メタノール</td><td>合計 260,000 kg
R9 52,000 kg
R10 52,000 kg
R11 52,000 kg
R12 52,000 kg
R13 52,000 kg</td><td>50%水溶液</td><td>1回の納入量
約10,000kg
ﾀﾝｸﾛｰﾘｰにて搬入</td></tr>
<tr><td>活性炭</td><td>合計 85.35 m^3
年計 17.07 m^3/年
酸性用新炭
0.81 m^3/年
塩基性用新炭
1.11 m^3/年
中性用新炭
0.71 m^3/年
酸性用再生炭
4.39 m^3/年
塩基性用再生炭
6.16 m^3/年
中性用再生炭
3.89 m^3/年</td><td>円柱状ペレット
<table>
<tr><th>項目</th><th>酸性用</th><th>塩基性用</th><th>中性用</th></tr>
<tr><td>乾燥減量</td><td>5%以下</td><td>40%以下</td><td>10%以下</td></tr>
<tr><td>充填密度</td><td>400～
500g/ℓ</td><td>400～
700g/ℓ</td><td>430～
520g/ℓ</td></tr>
<tr><td>粒度</td><td>90%以上</td><td>95%以上</td><td>95%以上</td></tr>
<tr><td>硬さ</td><td>95%以上</td><td>95%以上</td><td>95%以上</td></tr>
<tr><td>pH</td><td>9.0～10.5</td><td>1.5～2.0</td><td>1.5～2.0</td></tr>
<tr><td>悪臭成分
吸着量</td><td>H_2S
1ppm
24%以上</td><td>NH3
1ppm
7%以上</td><td>$(CH_3)_2S$
1ppm
3.5%以上</td></tr>
</table>
*悪臭成分吸着量はいずれも所定温度における平衡吸着量</td><td>汚泥濃縮棟のみ
年2回交換</td></tr>
</table>

物 品 名	予 定 数 量	規　　格	備　　考
脱硫剤	合計　78 m^3 年計　18 m^3/年 12 m^3/年 令和9・11・13年度:18m3 令和 10・12 年度:12m3	円柱状　直径　φ8～13mm 破壊強度　5kg 以上 H_2S 吸着能力　300mg/g 以上 充填密度　0.80±0.05	年3回交換 2 年で 5 回交換 (10 塔)
A重油	合計　15,000 L 年計　3,000 L/年	JISK2205規格1号 硫黄分0.1%以下	
灯油	合計　5,000 L 年計　1,000 L/年	JISK2203規格1号	
水道水	合計　25,390 m^3 年計　5,078 m^3/年		

別紙 IX．消耗品等

6.6に定める消耗品等は、次のとおりとする。

	項　　目	摘　　要
1	潤滑油類等	補充及び交換用オイル、グリース等
2	塗装材料等	補修用塗料、希釈剤、刷毛等
3	報告記録用紙等	中央操作室等の出力用機器に係るものを含む
4	什器・備品	業務用車両、作業車、自転車、写真機、電話機、事務用机類、事務用椅子類、書庫類、複写機、ファクシミリ、パソコン、テレビ、被服類、下足箱、傘立て、掃除具収納庫、ロッカー類、茶器類、寝具類、洗濯機、履物類など事務室及び休憩室等で使用するもの
5	保守点検・修繕用工具類及び測定器具類	投光器、特殊工具、溶接棒、酸素濃度計、ガス検知器など作業員用の器具
6	安全管理器具類	酸欠作業用送風機材、防塵メガネ、防塵マスク、雨具、長靴、安全靴、手袋、ヘルメット、安全ロープ、安全標識など作業員用の器具
7	水質検査用試薬及び検査用器具	全て
8	水処理及び汚泥処理用薬品	固形塩素剤、消石灰、キレート、清缶剤、並塩等
9	整備用品	掃除用具、ウエス、洗浄油類など
10	衛生用品	石鹸、消毒液、救急用薬品など作業員が使用するもの
11	日用品	事務室及び休憩室等で使用するもの
12	事務用品	事務室及び休憩室等で使用するもの
13	補修用共通資材	バルブ、Vベルト、オイルシール、パッキン、ボルト、ナット、ヒューズ、ランプ、ベアリング、減圧弁、配管材料（パイプ、電線管、エルボ、チーズ、ストレーナなど）、シールテープ、液体ガスケット、自己巾着テープ（ラップシール）、電工材料、コーキング材、塩ビ用接着剤、網戸用品、チェーン、硫化水素防止剤（ゼラスト）、ブレーカー（MC）、逆止弁、シャーピン、電磁弁、電動弁、リレー、タイマー、ＣＲＣ、ガス検知管（硫化水素用）、番線、圧力計、オードトレンラップ、ホース（バード）、コンプレッサー消耗品、プーリー、接点復活剤、ガス漏れ検知剤（スプレータイプ）、エアレギュレーター、pH計用KCI、指示計器類（電流、電圧、流量など）、キュービクル用ファン類、吸湿剤（ドライペットなど盤内で使用）、コンプレッサー用フィルター、照明器具及びその部材（安定器などを含む）、電球類、中央操作室等の出力用機器の消耗品（インク、記録用紙・メディア等）、ボールタップ、継ぎ手、ケーブル、使い捨てカッパ、棒電極、帯電極、レベルレギュレーター、フロートなしスイッチ、コンセント類、スイッチ類（リモコンスイッチ、圧力スイッチ、リミットスイッチ、押しボタン式などを含む）
14	水処理施設用資材	スカムスキマー用近接スイッチ・ブラケットなど、食用シリコン、沈砂池し渣搬出機用ローラーなど、透視度計、電極消耗品、pH計付属品、ORP計付属品、DO計付属品、UV計部品、残留塩素計試薬、イオン交換樹脂
15	汚泥処理施設用資材	水分計用赤外線ランプ、分析計用ボンベ類、ボイラー用ゲージグラス、軟水・硬水判定指示薬、脱水ケーキ搬出機用ローラーなど、脱水機用ゴム板、スクレーパ

別紙Ｘ．工事予定及び保安規定変更概要

業務期間内において、木津川上流浄化センターでは以下の工事が予定されている。
これらの工事の実施に伴い、保安規定の一部変更が生じる。

○汚泥濃縮機更新
　現在工事中～Ｒ８年度末予定

○自家発電機器更新
　現在工事中～Ｒ８年度末予定

○水処理設備（７系）増設工事
　計画中、工期未定

○第１ポンプ棟耐震工事
　計画中、工期未定

○管理棟耐震工事
　計画中、工期未定

○汚泥脱水機更新工事
　計画中、工期未定

○イオン消毒更新工事
　計画中、工期未定

○相楽中継ポンプ場　除塵機更新工事
　計画中、工期未定

○相楽中継ポンプ場　自家発電設備更新工事
　計画中、工期未定

※その他の増設、更新工事についても実施される場合がある。

工事の実施に伴い変更が予定されている保安規定の箇所を以下に示す。

別紙

事業場番号	契約番号	事業場名 住　所	受電 総容量	契約 電力	予備発電装置			発電所			点検の 種類
					容量	出力	電圧	容量	出力	電圧	
271446	0 21 2 06336	京都府流域下水道事務所 京都府桂川右岸流域下水道乙訓ポンプ場 向日市鶏冠井町東金村11－4	303	196	－	－	－	－	－	－	別表3-2
195353	0 21 3 04383	京都府流域下水道事務所 京都府木津川上流流域下水道木津川上流浄化センター 相楽郡精華町下狛椋ノ木地内	3950	1250	1500	1,200	6,600	25×4	25×4	200	別表1 別表1-2
195199	0 21 3 04384	京都府流域下水道事務所 京都府木津川上流流域下水道相楽中継ポンプ場 木津川市相楽高下4									別表5
197579	0 21 6 00725	京都府流域下水道事務所 京都府宮津湾流域下水道宮津湾浄化センター 宮津市字獅子崎地内	1000	135	250	200	6600	－	－	－	別表2
197582	0 21 6 00726	京都府流域下水道事務所 京都府宮津湾流域下水道獅子崎中継ポンプ場 宮津市字獅子崎地内	500	135	200	160	440	－	－	－	別表3-1
197583	0 21 6 00727	京都府流域下水道事務所 京都府宮津湾流域下水道鶴賀中継ポンプ場 宮津市字鶴賀地内	150	105	150	120	220/110	－	－	－	別表3-1
197638	0 21 6 00782	京都府流域下水道事務所 京都府宮津湾流域下水道須津中継ポンプ場 宮津市字須津	200	135	200	160	440	－	－	－	別表3-1
197652	0 21 6 00798	京都府流域下水道事務所 京都府宮津湾流域下水道堂谷中継ポンプ場 与謝郡与謝野町字石川小字切ヶ鼻	200	135	250	200	220/110	－	－	－	別表3-1
197676	0 21 6 00823	京都府流域下水道事務所 京都府宮津湾流域下水道四辻中継ポンプ場 与謝郡与謝野町字四辻	100	75	125	100	220/110	－	－	－	別表4

容量：2,000、出力：1,765に変更予定